



2025年度(第36回)新入社員の 会社生活調査

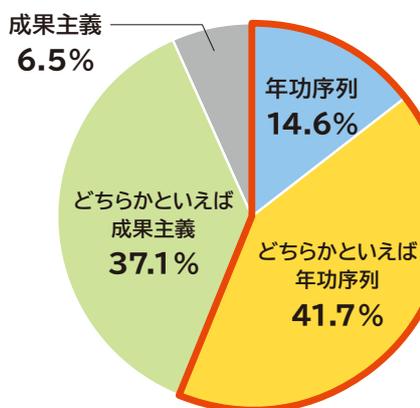


PICKUP DATA

年功序列的人事制度と成果主義的人事制度では
どちらを望みますか？

年功序列 …… **14.6%**

どちらかといえば年功序列 …… **41.7%**



年功序列を望むのは
計 **56.3%**

本年度の新入社員を対象とした「会社生活調査」では、定番の設問として、年功序列的な人事制度と成果主義的な人事制度のどちらを望むかを尋ねました。結果として、初めて「年功序列」を望む回答が「成果主義」を望む回答を上回り、半数を超えました。

内訳を見ると、「年功序列」を望むと回答したのは14.6%、「どちらかといえば年功序列」が41.7%となり、両者を合わせて56.3%が「年功序列」を望みました。この結果、初めて「年功序列」が過半数を占めました。(2022年度までの選択肢は「年功序列」と「成果主義」の二者択一)

「年功序列」を望む新入社員の割合は、2022年度の38.9%から徐々に上昇し、2024年度には48.5%で過去最高となりました。2025年度はさらにこの割合が高まり、記録を更新しました。また、「終身雇用」を望む割合は69.4%、「同じ会社に長く勤めたい」とする回答も51.8%といずれも増加傾向にあり、“安定志向”の強さがうかがえます。

ワークライフバランスを重視する価値観が広まる中で、競争よりも安定した環境で着実に経験を積みながら働きたいという意識が、新入社員の間に高まりを見せています。

お問い合わせ先

学校法人産業能率大学 総合研究所 マーケティングセンター

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

電話: 03-5758-5117 Mail: sanno_souken@hj.sanno.ac.jp



目 次

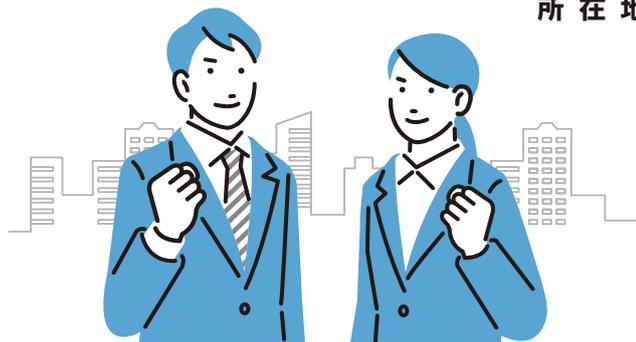
● 調査概要	P.1
● 総 括	P.2
● PICKUP DATA	P.3~P.11
● データ集	P.12~P.42

学校法人産業能率大学 総合研究所（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2025年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

この「新入社員の会社生活調査」は、1990年度から継続して実施しており、本年度で36回目となります。調査は2025年3月26日から4月10日までに、2025年に就職した新入社員を対象に実施し、369人から回答を得ています。

調査概要

1. 調査対象	2025年度入社の新入社員		
2. 調査時期	2025年3月26日～4月10日		
3. 調査方法	オンラインによる回答肢選択方式		
4. 有効回答	369人（男性273人・74.0%/女性94人・25.5%/答えたくない2人・0.5%）		
5. 所属企業プロフィール	従業員数	100人未満	20人（ 5.4%）
		100人以上 500人未満	101人（27.4%）
		500人以上 1,000人未満	50人（13.6%）
		1,000人以上	198人（53.7%）
			369人
	上場区分	上場企業	247人（66.9%）
		非上場企業	110人（29.8%）
		企業以外の法人・団体	12人（ 3.3%）
			369人
	企 業 所 在 地	北海道	2人（ 0.5%）
		東 北	130人（35.2%）
		関 東	205人（55.6%）
		中 部	11人（ 3.0%）
		近 畿	6人（ 1.6%）
		中 国	13人（ 3.5%）
		四 国	0人（ 0.0%）
		九 州・沖 縄	1人（ 0.3%）
		その他	1人（ 0.3%）
			369人



総括

本年の新入社員は、コロナ禍の影響が色濃く残る時期に入学し、アフターコロナの過渡期を学生生活や就職活動、そして急速に普及した生成AIとともに過ごしたZ世代です。こうした時代の中で、新入社員がこれから始まる会社生活をどのように過ごしたいと考えているのか、就職活動で新しいテクノロジーをどのように活用してきたのか、また今後の仕事でどのように活用していきたいと考えているのかについて、「2025年度 新入社員の会社生活調査」で明らかにしました。

新入社員が就職先を選ぶ際に重視した点は、「福利厚生」「業種」「給与水準」がベスト3でした。特に「福利厚生」や「給与水準」が増加している一方で、「職務内容」や「企業風土」、「職種」が減少傾向にあり、これらへのこだわりは相対的に弱まりつつある様子が見えられます（問4）。

また、「年功序列」と「成果主義」のどちらを望むかという設問では、2022年度以降増加傾向にあった「年功序列」が、初めて「成果主義」を上回り、56.3%と過半数を占めました（問26）。このような“安定志向”は、約7割が望むと回答した終身雇用制度にも表れています（問27）。同じ会社に長く勤めたいかについても、「思う」と「どちらかといえば思う」との回答が約9割となり、いずれも増加傾向にあります（問28）。

また、働き始めるにあたり不安に思っていることとしては、「自分の能力で仕事をやっていけるか」（71.3%）が最も多い回答となっています（問11）。さらに、仕事でストレスを感じそうな状況としても、「自分の能力不足」が75.9%で最も多く、能力に対する不安が強く表れていることがわかります（問12）。

上司や先輩に期待することは「細かく教えてくれること」（66.7%）、「平等に接してくれること」（52.0%）、「褒めてくれること」（49.9%）がベスト3となりました。「細かく教えてくれること」は昨年度から4.4ポイント増加しました（問17）。新入社員は、上司や先輩に対して“平等に接しながら、細かく指導し、適切に褒めてくれること”を求めているようです。

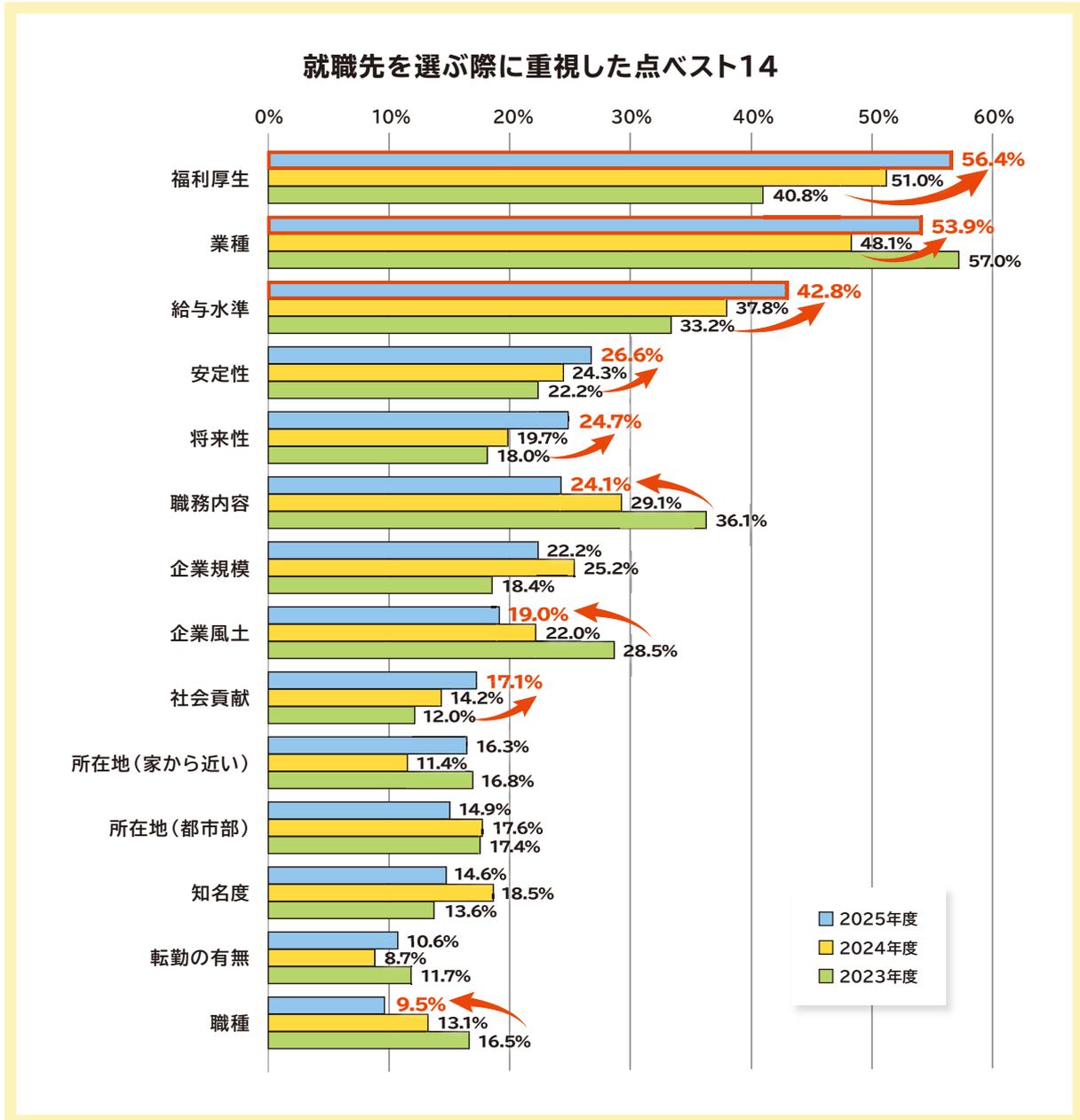
急速な普及を遂げているChatGPTやClaude、DeepSeekなどの生成AIについて、どの程度知っているかを尋ねた設問では、「基本的なことは知っている」が64.5%（昨年度比13.3ポイント増）、「詳しく知っている」が13.8%（同4.2ポイント増）となり、これらを合わせると78.3%（同17.5ポイント増）が“知っている”と回答しました（問5）。実際に生成AIを活用した経験は、「検索や情報収集に活用」が53.9%と、昨年から28.0ポイント増加しました。「学習や研究に活用」も39.8%で、昨年より16.7ポイント増加しています。設問で設定した各選択肢はいずれも軒並み増加しており、AI活用の広がりがうかがえます（問6）。就職活動でも生成AIが活用されており、「エントリーシートや履歴書の作成支援に活用」した割合は、昨年度の8.9%から22.0%へと増加しました（問7）。

さらに仕事における生成AIの活用意識は、「業務のサポートとして活用したい」が42.0%、「必要に応じて活用を検討する」が29.5%、「積極的に活用して効率化や新しい価値を生み出したい」が20.9%となり、これら3項目を合計すると92.4%（昨年度比5.7ポイント増）が、仕事でも生成AIの活用を検討していることがわかります（問8）。

近年、制度化する企業も増えてきた副業は、「利用したい」が30.6%、「どちらかといえば利用したい」が45.0%となり、合わせて75.6%が“利用したい”と回答しました。ただし、この割合は2022年度から徐々に減少傾向となっています（問13）。35歳時点の理想の年収は「約716万円」で、昨年度から約41万円減少したものの、依然として高水準を維持しています（問30）。

就職先を選ぶ際に重視した点は？

「福利厚生」 **56.4%**
 「業種」 **53.9%**
 「給与水準」 **42.8%**



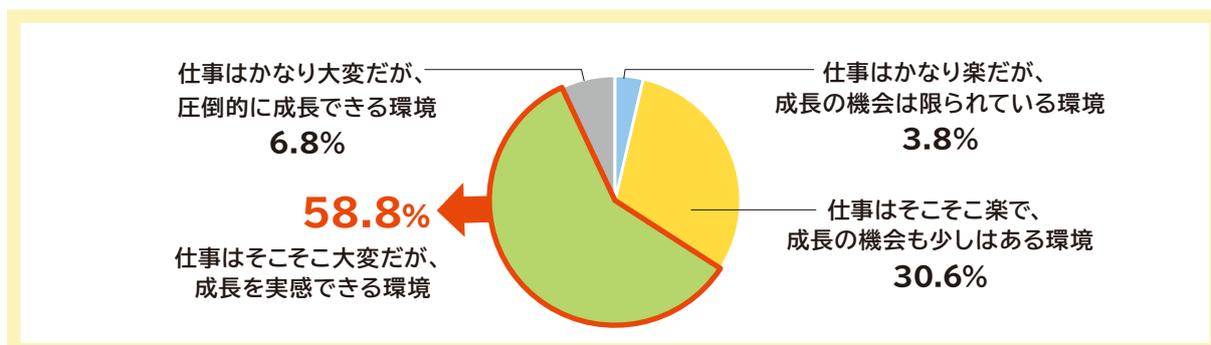
就職先を選ぶ際に重視した点（P.16・17／問4・複数回答）を尋ねると、「福利厚生」が56.4%、「業種」が53.9%、「給与水準」が42.8%でベスト3となり、いずれも昨年度から増加しました。

また、2023年度以降、割合が増加傾向にあるのは、「安定性」（4位・26.6%）、「将来性」（5位・24.7%）、「社会貢献」（9位・17.1%）です。一方で、「職務内容」（6位・24.1%）、「企業風土」（8位・19.0%）、「職種」（14位・9.5%）は、それぞれ2023年度から徐々に減少しています。

福利厚生や給与水準といった待遇面を重視し、企業には安定性や将来性を期待する一方で、業務内容や職種へのこだわりは相対的に弱まりつつある様子が見えられます。

働く環境として最も魅力的なのは？

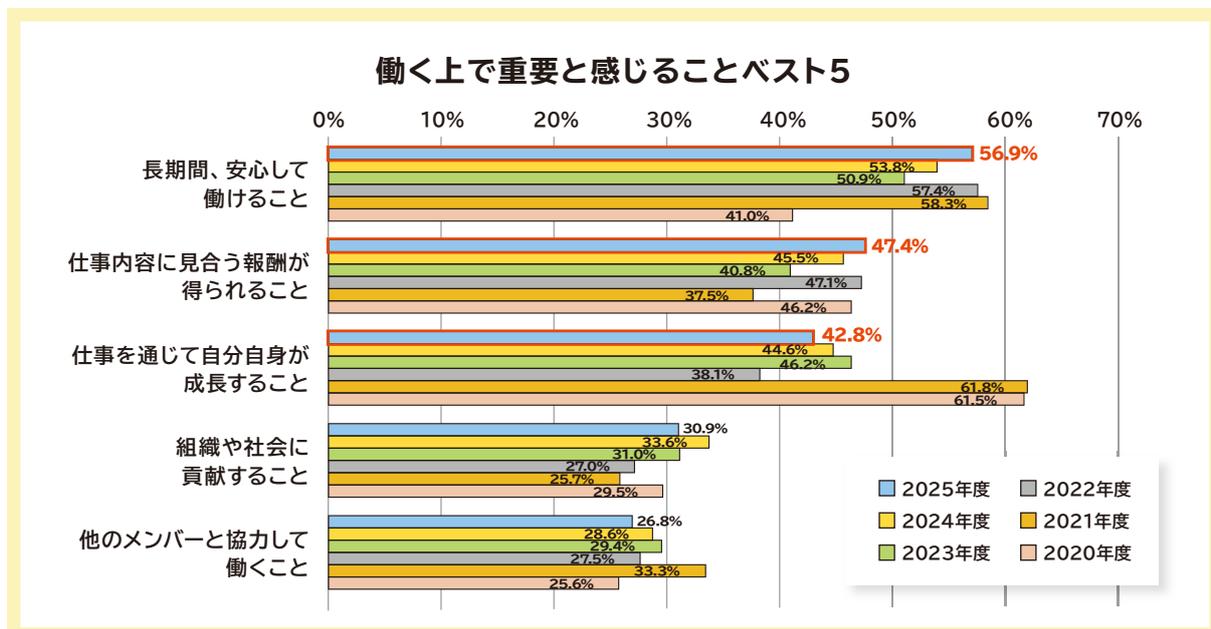
「仕事はそこそこ大変だが、成長が実感できる」 **58.8%**
 「仕事はそこそこ楽で、成長の機会も少しはある」 **30.6%**



「働く」上で、最も魅力的だと思う環境（P.21／問9・単数回答）を尋ねたところ、「仕事はそこそこ大変だが、成長を実感できる環境」が58.8%と、「仕事はそこそこ楽で、成長の機会も少しはある環境」の30.6%を約28%上回りました。新入社員は単に安定した環境を望むのではなく、ほどよいチャレンジを通じて着実に成長できる環境を求めていることがうかがえます。

働く上で自分にとって重要と感ずることは？

「長期間、安心して働ける」 **56.9%** / 「仕事内容に見合う報酬が得られる」 **47.4%**



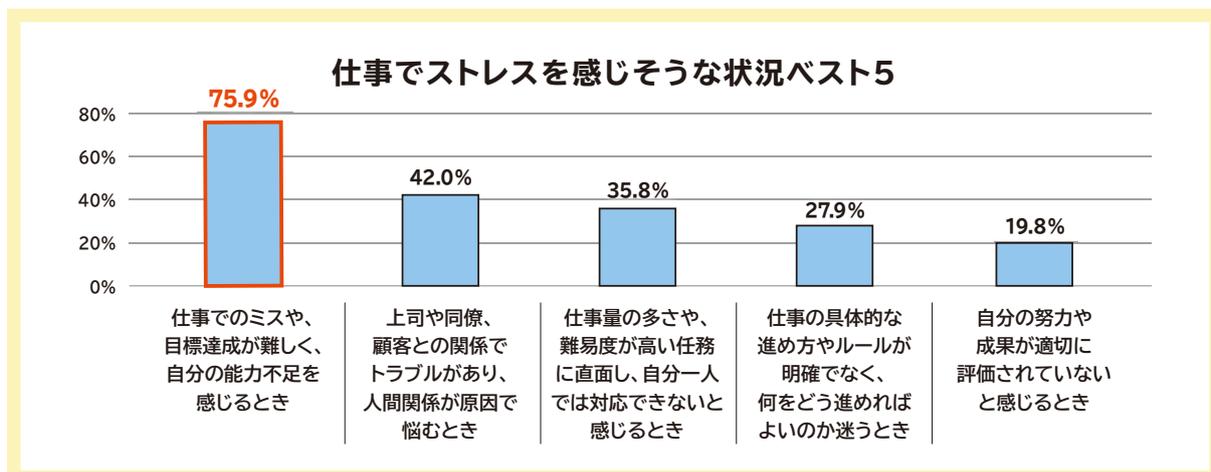
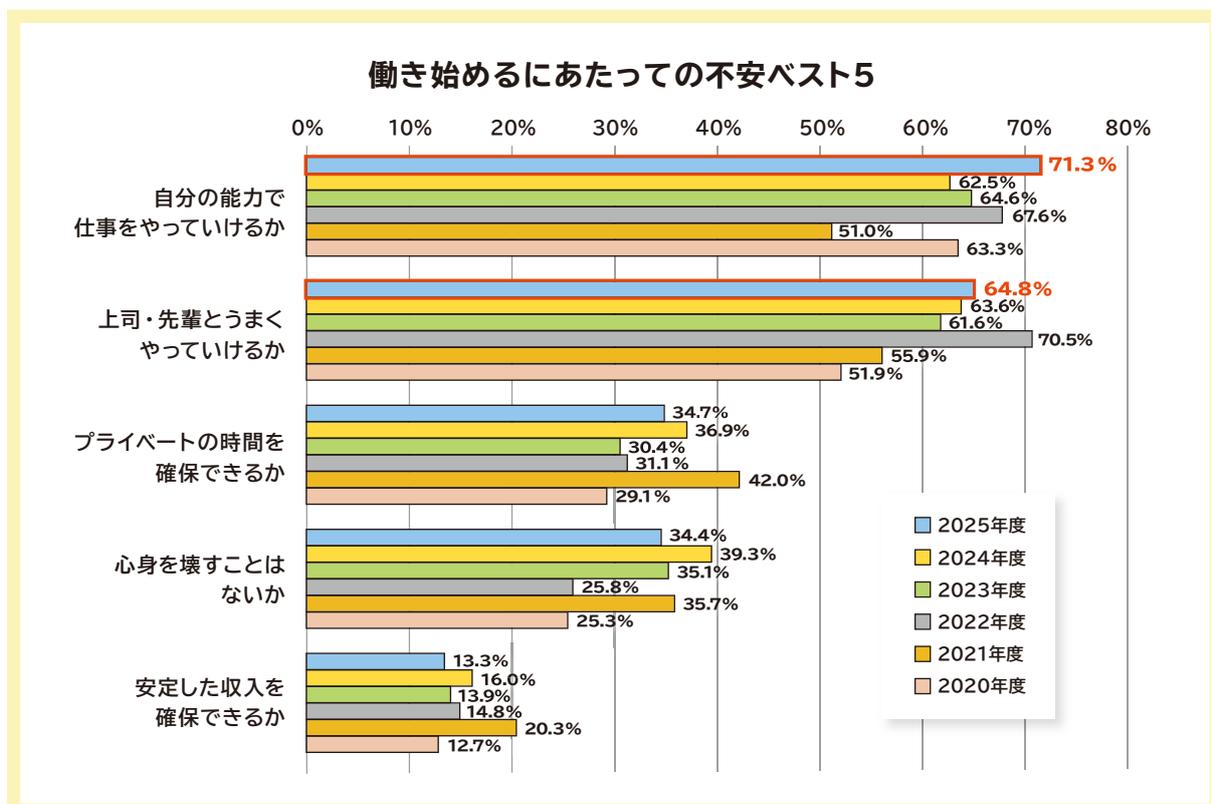
働く上で自分にとって重要だと感ずること（P.22／問10・複数回答）では、「長期間、安心して働けること」（56.9%）、「仕事内容に見合う報酬が得られること」（47.4%）、「仕事を通じて自分自身が成長すること」（42.8%）が、昨年度と同様に上位3項目となりました。回答傾向からは、安定性や待遇面を重視しつつ、成長の機会も求めていることがうかがえます。

ただし、「仕事を通じて自分自身が成長すること」は年々割合が減少しており、成長を重視する意識は引き続き見られるものの、その傾向はやや弱まりつつあるようです。

働き始めるにあたり、不安に思っていることは？

「自分の能力で仕事をやっていけるか」 **71.3%**

「上司・先輩とうまくやっていけるか」 **64.8%**

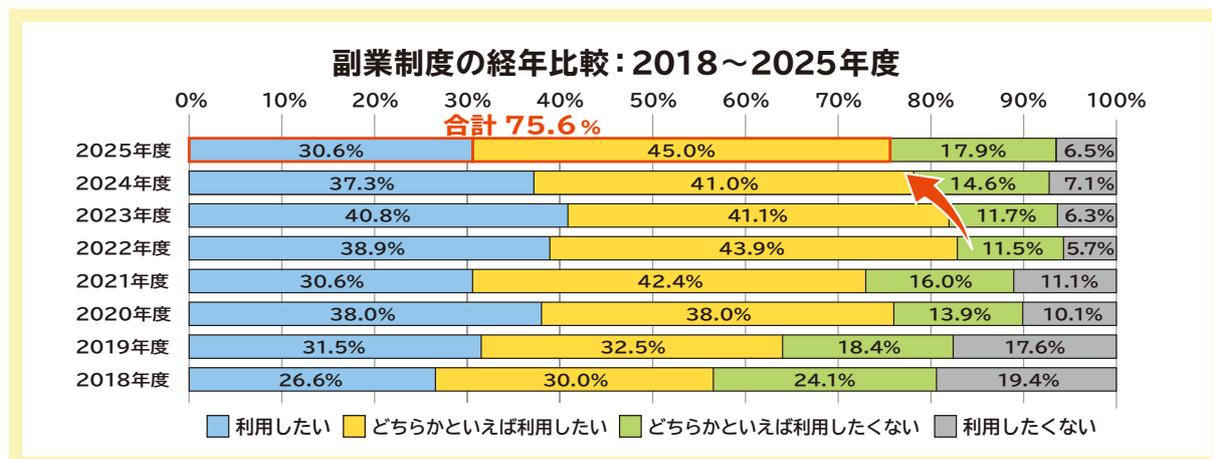


働き始めるにあたって、不安に思っていること (P.23/問11・複数回答) では、「自分の能力で仕事をやっていけるか」が過去最高の71.3%、「上司・先輩とうまくやっていけるか」が64.8%となりました。新入社員の多くが自らの能力や職場の人間関係に不安を抱えている様子がうかがえます。

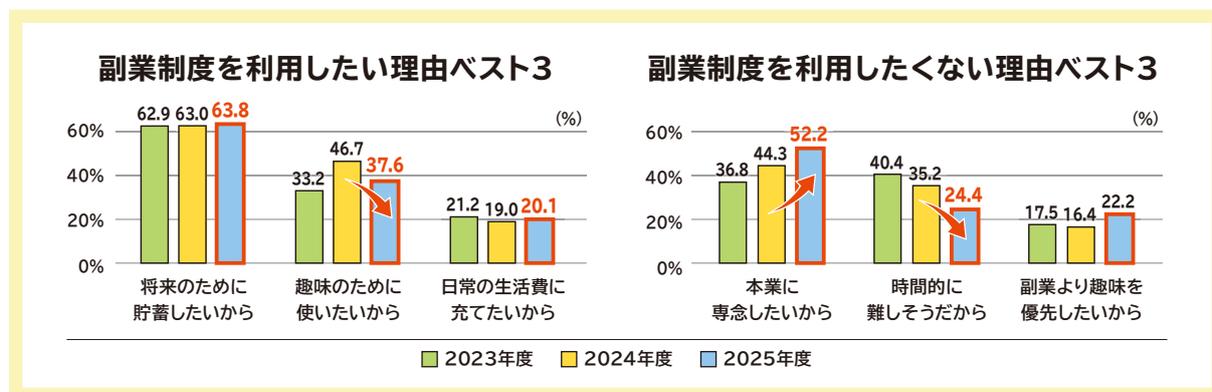
また、仕事でストレスを感じそうな状況 (P.24/問12・複数回答) でも、「仕事のミスや目標達成が難しく、自分の能力不足を感じる時」が75.9%で最も高く、「上司や同僚、顧客との関係でトラブルがあり、人間関係が原因で悩む時」が42.0%と続きました。

これらの結果から、自分の力で業務を遂行できるかという不安や人間関係への懸念が、新入社員にとってストレスの主な原因となっていることがわかります。

会社に副業制度があった場合、 利用したいか？ 「利用したい」意向は **75.6%** 利用したい理由は？ ……「将来のために貯蓄したい」 **63.8%** 利用したくない理由は？ ……「本業に専念したい」 **52.2%**



近年、導入する企業も増えている“副業制度”について、どの程度利用したいか（P.25／問13・単数回答）を尋ねたところ、「利用したい」が30.6%で、昨年度から6.7ポイント減少しました。「どちらかといえば利用したい」（45.0%）を加えると、“利用したい”とする意向があるのは計75.6%となります。この割合は、調査を開始した2018年度から上昇傾向が続いていましたが、2022年度以降は3年連続で減少しています。



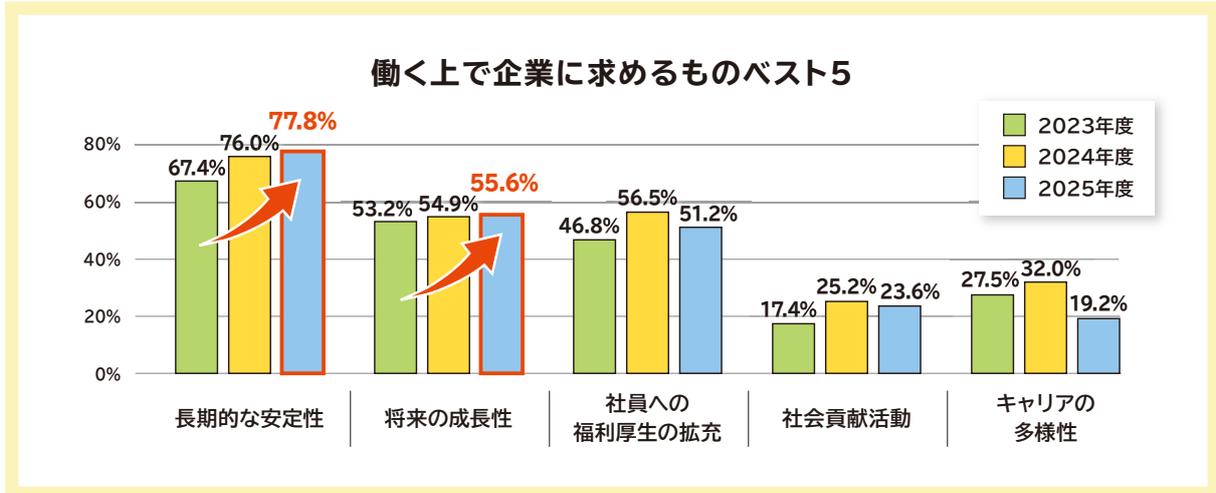
“副業制度”の利用意向は減少傾向にあるものの、利用したい理由（P.26／問14・複数回答）として最も多かったのは「将来のために貯蓄したいから」（63.8%）であり、直近3年間でもほぼ同水準で推移しています。次いで「趣味のために使いたいから」は37.6%で、昨年度から9.1ポイント減少しました。「日常の生活費に充てたいから」は微増し、20.1%となっています。

「貯蓄をしたい」とする理由は、将来支給される公的年金への期待（P.37／問25・単数回答）に関する設問において、「期待していない」と「どちらかという期待していない」の合計が58.3%であることから、将来の不安への保険とも考えられそうです。

一方で、利用したくない理由（P.27／問15・単数回答）では、「本業に専念したいから」（52.2%）が最も高く、2023年度から15.4ポイント増加し過去最高となりました。「時間的に難しそうだから」は24.4%となり、2023年度から16.0ポイント減少しています。また、「副業より趣味を優先したいから」は22.2%で、昨年度から5.8ポイント増加しました。

働く上で企業に求めるものは？

「長期的な安定性」 **77.8%** / 「将来の成長性」 **55.6%**



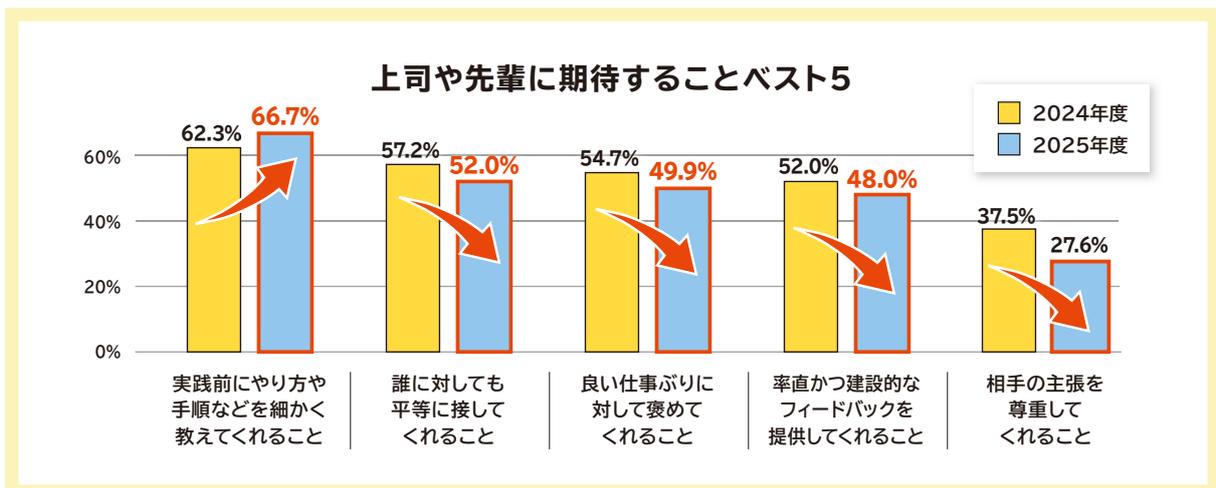
働く上で企業に求めるもの（P.28／問16・複数回答）を尋ねると、「長期的な安定性」が77.8%で1位、「将来の成長性」が55.6%で2位となり、2年連続でわずかに増加しています。

続く「社員への福利厚生への拡充」（51.2%）、「社会貢献活動」（23.6%）、「キャリアの多様性」（19.2%）は、いずれも昨年度は2023年度から増えたものの、本年度は減少に転じています。

働く上で上司や先輩に期待することは？

「やり方や手順を細かく教えてくれること」 **66.7%**

「平等に接してくれること」 **52.0%**



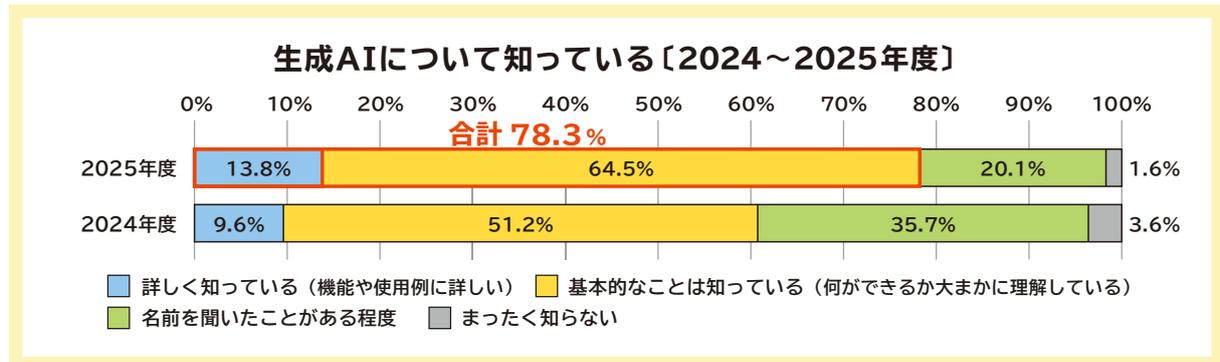
働く上で上司や先輩に期待すること（P.29／問17・複数回答）では、「実践前にやり方や手順など細かく教えてくれること」が66.7%で最も多く、昨年度から4.4ポイント増加しました。2位は「誰に対しても平等に接してくれること」（52.0%）、3位は「良い仕事ぶりに対して褒めてくれること」（49.9%）、4位は「率直かつ建設的なフィードバックを提供してくれること」（48.0%）でした。

2位以下はいずれも昨年度より減少していますが、新入社員は上司や先輩に対して“平等に接しながら、細かく指導し、適切に褒めてくれること”を求めているようです。

ここ数年、文書・動画・音声など多様な分野で急速に普及・進化を遂げている「生成AI」について、昨年度に続き新入社員に尋ねました。

生成AI（例：ChatGPT、Claude、DeepSeekなど）について知っている？

「基本的なことは知っている」**64.5%** / 「詳しく知っている」**13.8%**



ChatGPTをはじめとする生成AIについて、どの程度知っているか（P.18／問5・単数回答）を尋ねました。

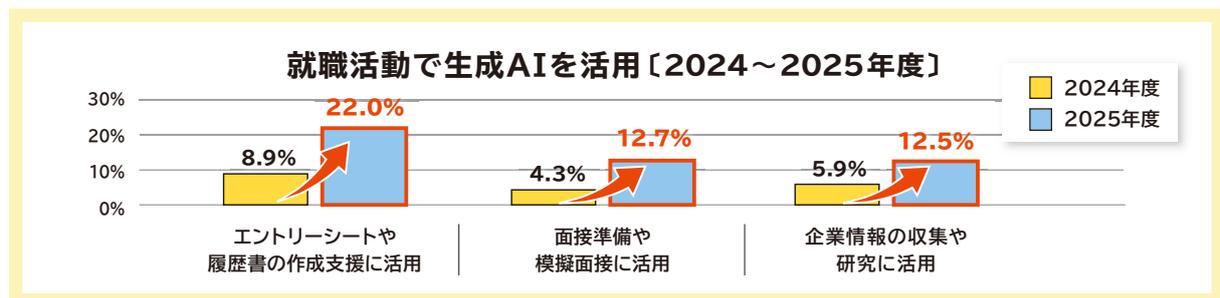
「詳しく知っている（機能や使用例に詳しい）」と回答した人は昨年度比4.2ポイント増の13.8%、「基本的なことは知っている（何が出来るか大まかに理解している）」は同13.3ポイント増の64.5%でした。この2つを合わせると、全体の78.3%が生成AIについて一定程度の理解を示しています。

一方、「名前は聞いたことがある程度」は同15.6ポイント減の20.1%、「まったく知らない」は昨年度の3.6%から1.6%へと半減しました。

これらの結果から、生成AIに対する認知が昨年度よりもさらに広がっていることがわかります。

就職活動において生成AIを活用したか？

「エントリーシートや履歴書作成に活用」**22.0%** / 「面接の準備に活用」**12.7%**



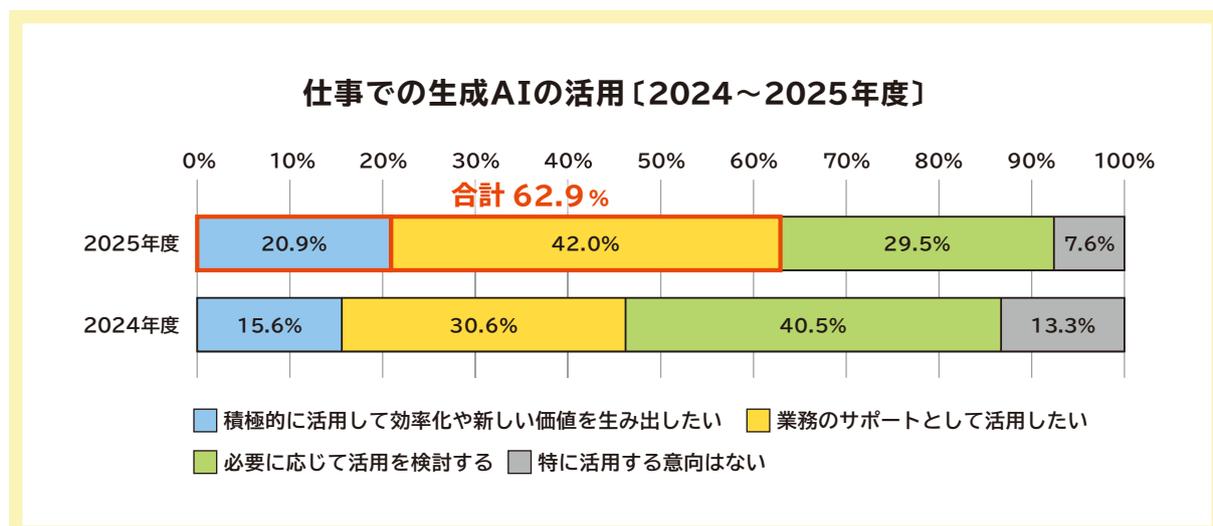
生成AIの認知度が高まる中、就職活動における活用（P.20／問7・複数回答）も増加傾向にあります。「エントリーシートや履歴書の作成支援に活用」と回答したのは22.0%で、昨年度から13.1ポイント増加しました。「面接準備や模擬面接に活用」が12.7%（同8.4ポイント増）、さらに「企業情報の収集や研究に活用」が12.5%（同6.6ポイント増）と、いずれの項目も昨年度を大きく上回っています。

一方で、「特に活用しなかった」と回答した割合は63.1%と依然として高いものの、昨年度から22.5ポイント減少しました。この結果から、就職活動における生成AIの活用は着実に進んでいる一方で、いまだ一定のハードルが存在していることがうかがえます。

仕事において、生成AIをどのように活用したいか？

「業務のサポートとして活用」 **42.0%**

「必要に応じて活用を検討」 **29.5%**

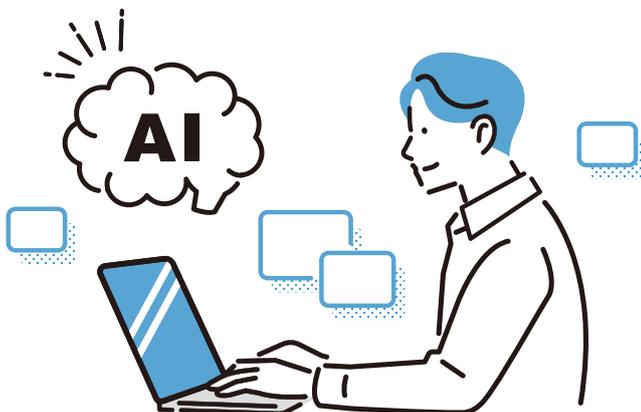


今後の仕事において、生成AIをどのように活用したいか（P.21／問8・単数回答）を尋ねました。

「業務のサポートとして活用したい」とする実務派が42.0%で、昨年度の30.6%から11.4ポイント上昇し、最多となりました。また、「積極的に活用して効率化や新しい価値を生み出したい」とする積極派も20.9%となり、昨年度から5.3ポイント増加しました。これらを合計すると、62.9%が生成AIを積極的に活用したいと考えており、昨年度から16.7ポイント増加して多数派になりました。

一方、「必要に応じて活用を検討する」とする臨機応変派は29.5%で、昨年度から11.0ポイント減少しており、活用意欲が高まっている様子がうかがえます。これら3つの回答を合わせると、9割以上の新入社員が生成AIを業務で活用する意向を示しています。

Z世代にあたる本年度の新入社員にとって、生成AIはさらに身近な存在となりつつあり、今後の仕事でも、効率化や生産性向上を目的に活用されていくことが期待されます。



本年度の「会社生活調査」において、
過去最高や過去最低となった項目など、特徴的な回答について
ピックアップしました！

◆ **就職活動を振り返って** 「大変だった」 **71.3%**

就職活動を振り返って、どのように感じたか (P.13/問1・単数回答) と尋ねたところ、「かなり大変だった」が30.6%、「思ったより大変だった」が40.7%で、合わせると71.3%が“大変だった”と感じたことがわかりました。昨年度からは3.4ポイント増加しています。

◆ **面接はオンライン？ 対面？** 「対面」 **62.3%**

オンラインによる面接と対面での面接では、どちらがやりやすいか (P.14/問2・単数回答) を尋ねたところ、「対面の方がやりやすい」と回答した人は62.3%で、昨年度から6.2ポイント増加し、2023年度以降上昇傾向が見られます。一方、「オンラインの方がやりやすい」と回答した人は21.1%で、昨年度から6.3ポイント減少し、ピークだった2023年度からは16.6ポイントの減少となりました。

◆ **就職活動の結果には満足？ 不満？** “満足度” **96.5%**

就職活動の結果に満足しているか (P.15/問3・単数回答) では、「たいへん満足」が57.5%、「やや満足」の39.0%となり、これらを合わせた“満足度”は96.5%に達し、過去最高となりました。

過去
最高

◆ **生成AIを活用した経験は？** 「検索や情報収集」 **53.9%**

生成AIを活用した経験があるか (P.19/問6・複数回答) では、「検索や情報収集に活用」したが53.9%で、昨年度比28.0ポイント増加しました。「学習や研究に活用」したのが39.8% (同16.7ポイント増)、「文章作成に活用」が30.6% (同14.8ポイント増) となり、活用経験に関する全項目が昨年度よりも増加しました。

その結果、「特に活用した経験はない」と回答した割合は21.7%にとどまり、昨年度の49.7%から28.0ポイント減少しました。新入社員の約8割が、何らかの形で生成AIを活用した経験を持っていました。

◆ **就職活動で生成AIを活用したか？** ... 「ESや履歴書の作成支援」 **22.0%**

就職活動において生成AIを活用したか (P.20/問7・複数回答) では、「エントリーシートや履歴書の作成支援に活用」したが22.0%で、昨年度の8.9%から13.1ポイント増、「面接準備や模擬面接に活用」が12.7%、「企業情報の収集や研究に活用」が12.5%となりました。前述のとおり、新入社員の約8割が生成AIを何らかの形で活用していますが、就職活動に限ってみると、「特に活用しなかった」が63.1%と依然として多く、昨年度比で22.5ポイント減少したものの、就職活動における生成AIの活用には、いまだ一定のハードルがある様子が見えられます。

◆ **将来のキャリアは？** 「管理職として指揮を執る」 **38.2%**

将来のキャリアについてどのように考えているか (P.30/問18・単数回答) では、昨年度までの選択肢の〈役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる〉を「役職には就かず、ワークライフバランスを重視して働く」と「エキスパート職として専門性を高め、担当業務で成果を上げる」の2項目に分けて尋ねました。

その結果、従来の選択肢である「管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る」が38.2%で最も多くなりましたが、昨年度の52.9%からは14.7ポイント減少しました。その一方で、「エキスパート職として成果を上げる」が34.7%、「ワークライフバランスを重視して働く」が24.7%となりました。

◆ **休日などに充てる自己啓発の時間は？** …………… **「年200時間以上」6.5%** 過去最低

就業時間外や休日に充てる自己啓発の時間について (P.31/問19・単数回答) 尋ねたところ、「年50時間以上100時間未満 (おおよそ月4時間10分以上8時間20分未満)」から「年200時間以上 (おおよそ月16時間40分以上)」までの4つの選択肢を合計すると33.1%となりました。しかし、これは2023年度比で9.3ポイントの減少となっており、自己啓発に充てる時間が減少傾向にあることがうかがえます。特に「年200時間以上 (おおよそ月16時間40分以上)」が13.6%から6.5%へと半減し、過去最低となりました。

◆ **最終目標の役職・地位は？** …………… **「課長クラス」15.2%** 過去最高

最終的に目標とする役職・地位について (P.34/問22・単数回答) 尋ねたところ、「部長クラス」が21.7%となり管理職の選択肢の中では最も多い結果となりました。また、「課長クラス」との回答は15.2%で、この設問を開始した1990年度以降で過去最高となりました。一番多かった回答は「地位には関心がない」で34.4%となりますが、これは過去4番目に低い数値となりました。

◆ **許容できる1か月の残業時間は？** …………… **「1~10時間」24.1%** 過去最高

許容できる1か月の残業時間 (P.35/問23・単数回答) について尋ねたところ、全体では「11時間~20時間」が36.0%で最も多くなりましたが、続く「1~10時間」は24.1%で、過去最高となりました。全体として、許容される残業時間はより短い時間帯へとシフトしている傾向が見受けられます。

◆ **いつまで会社勤めをしたいか？** …………… **“60歳以上”86.2%** 過去最高

いつまで会社勤めなどの被雇用者として働きたいか (P.36/問24・単数回答) では、一般的に定年とされる「60歳」が40.4%で最も多く、次に再雇用定年の年齢である「65歳」が30.9%となりました。“60歳以上”を合計すると86.2%で過去最高となり、定年前での退職を希望する人は減少傾向にあります。

◆ **公的年金を期待しているか？** …………… **「期待している」22.2%** 過去最高

将来支給される公的年金 (国民年金・厚生年金等) を老後の収入として期待しているか (P.37/問25・単数回答) では、「期待している」が22.2%で過去最高となりました。「どちらかといえば期待している」の19.5%と合わせると41.7%が“期待している”と答えており、これは2022年度の42.2%に続く過去2番目に高い期待度となっています。

◆ **同じ会社に長く勤めたい？** …………… **「思う」51.8%** 過去最高

終身雇用制度を望むか (P.39/問27・単数回答) では、「望む」が69.4%で、2021年度の60.3%以降、毎年増加の傾向にあります。これに伴い、同じ会社に長く勤めたいと思うか (P.40/問28・単数回答) では、「思う」が初めて過半数となる51.8%となりました。「どちらかといえば思う」の37.4%と合わせると“長く勤めたいと思う”のは89.2%となり、昨年度比で4.5ポイント増加しています。

◆ **雇用はジョブ型？ メンバーシップ型？** …………… **「ジョブ型」27.9%** 過去最高

ジョブ型雇用制度とメンバーシップ型雇用制度ではどちらを望むか (P.41/問29・単数回答) では、「ジョブ型」が27.9%で過去最高となり、「メンバーシップ型」は24.7%でした。昨年度は「メンバーシップ型」が「ジョブ型」を0.2ポイント差でわずかに上回っていましたが、本年度は逆転しました。

◆ **35歳時点の理想の年収は？** …………… **約716万円**

35歳時点での理想の年収額 (P.42/問30・自由記述) を尋ねると、「600~700万円未満」が最多の20.3%でした。次いで、「500~600万円未満」が18.2%、「700~800万円未満」が17.9%となりました。

これらの加重平均値は、昨年度には約757万円で過去最高となりましたが、本年度は408,913円減り7,161,247円となりました。ただし、2021年度の約559万円を底に上昇が続いており、依然として高水準を維持しています。

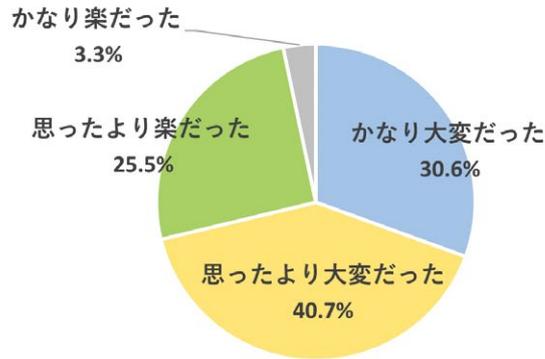
2025年度(第36回)新入社員の
会社生活調査
データ集

※「データ集」における経年比較は、その質問を開始した年度以降のデータを可能な限り記載しています。

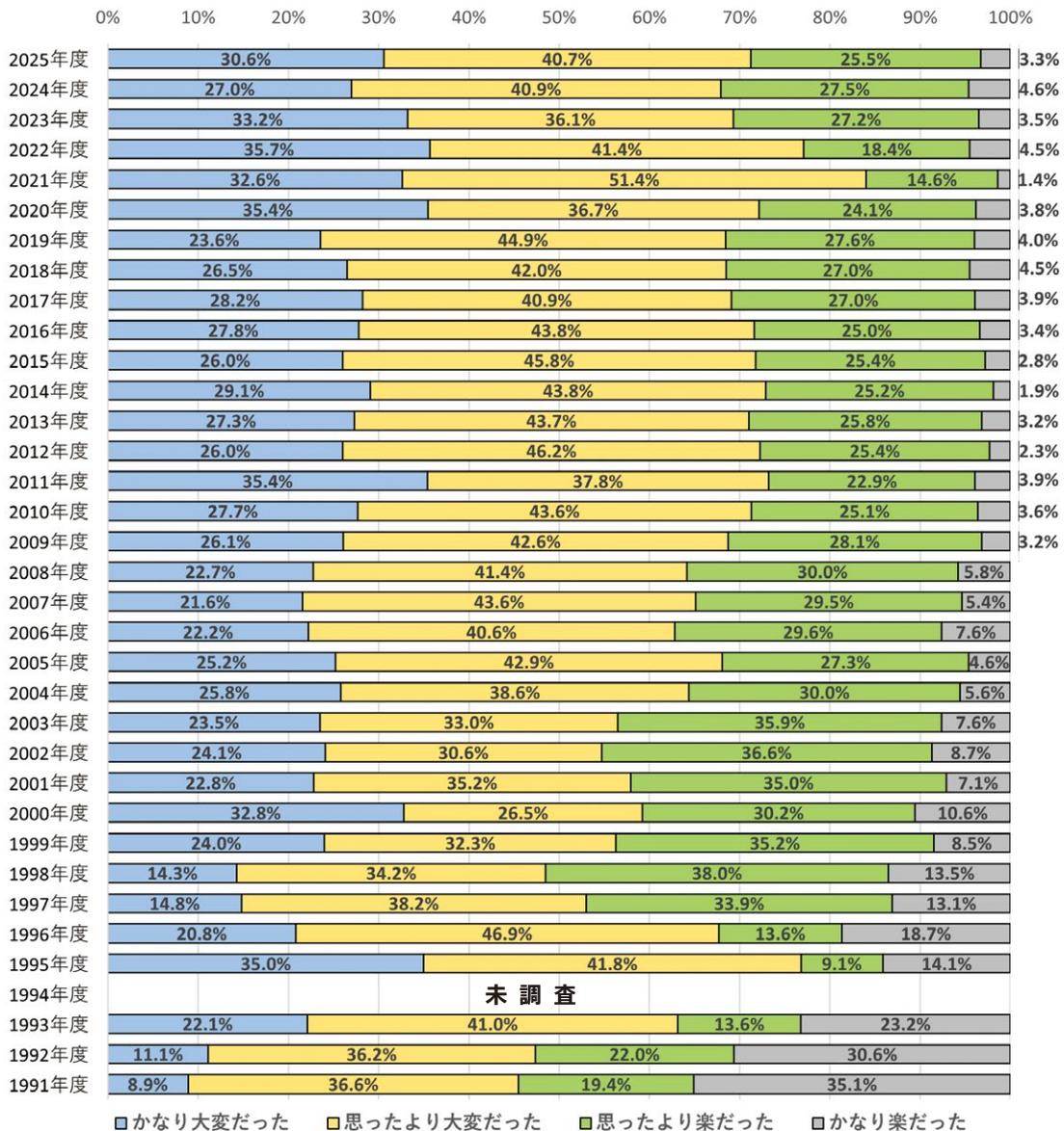
問 1

就職活動を振り返って、どのように感じましたか？(1つ選択)

(n=369)



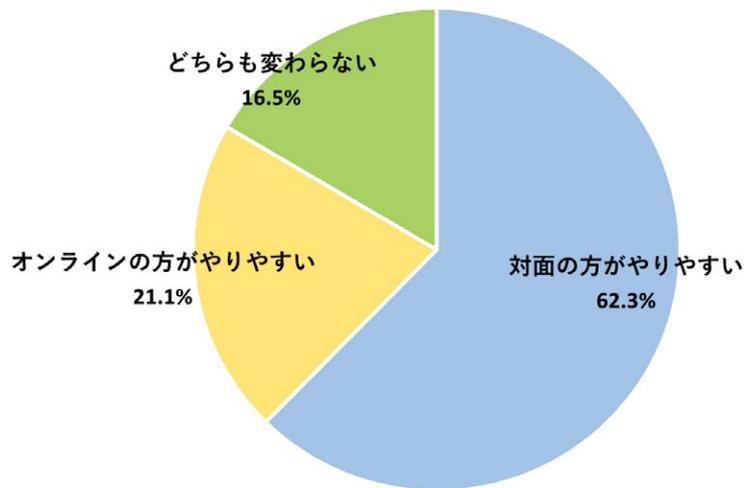
経年比較(1991~2025年度)



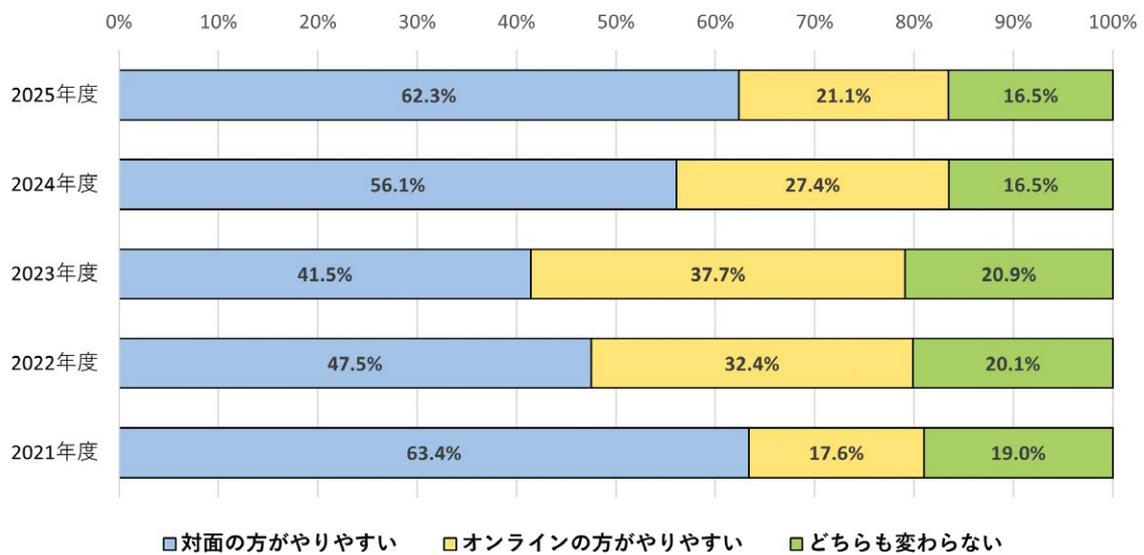
問 2

オンラインによる面接と対面での面接では、どちらがやりやすいですか？
(1つ選択)

(n=369)



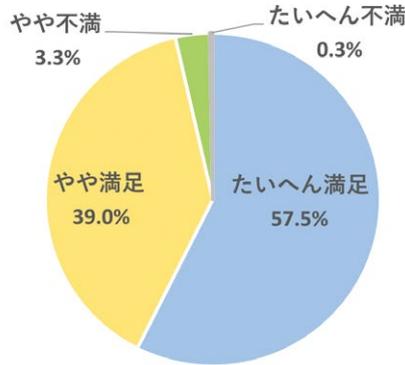
経年比較 (2021～2025年度)



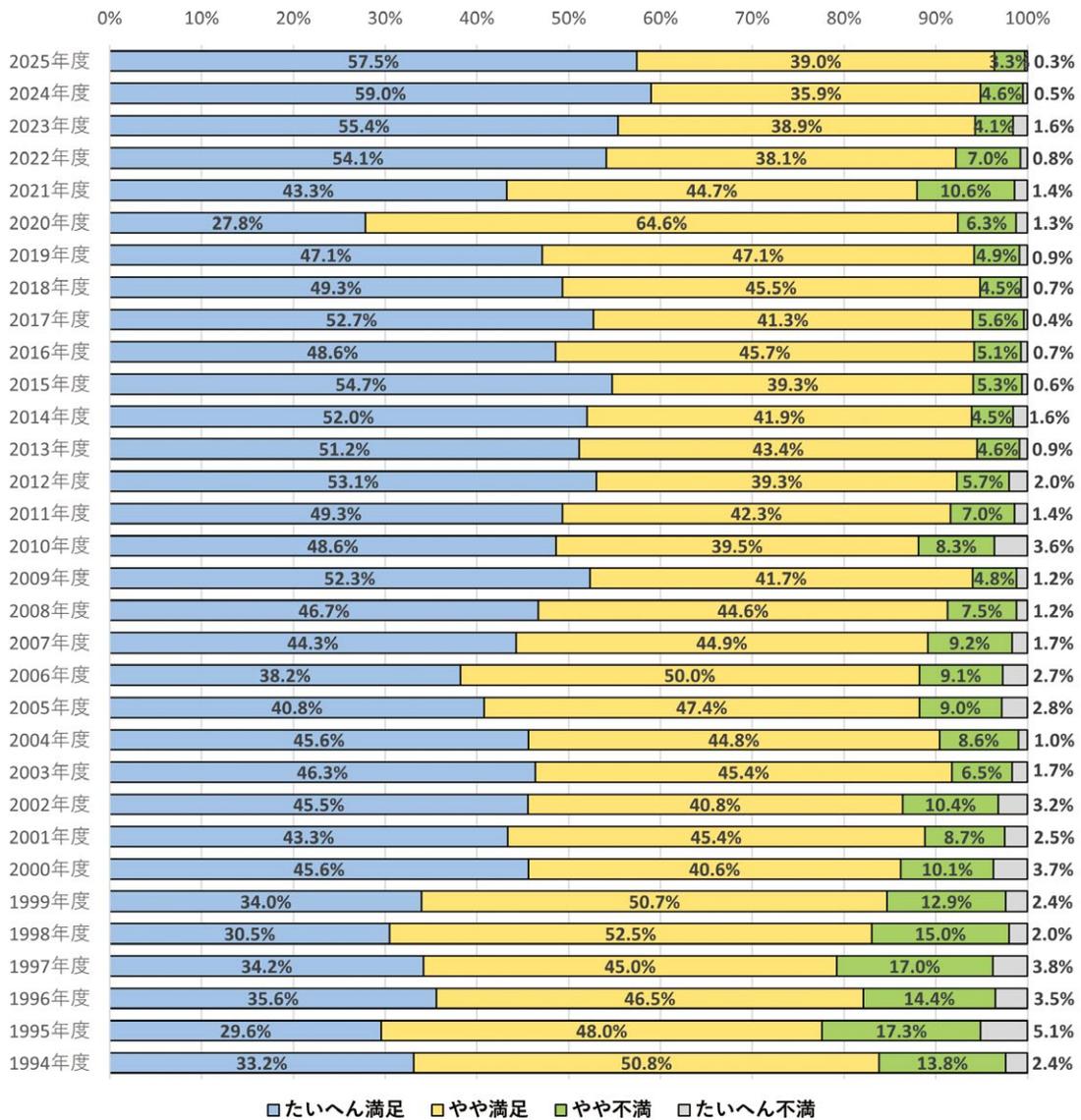
問 3

就職活動の結果に満足していますか？(1つ選択)

(n=369)

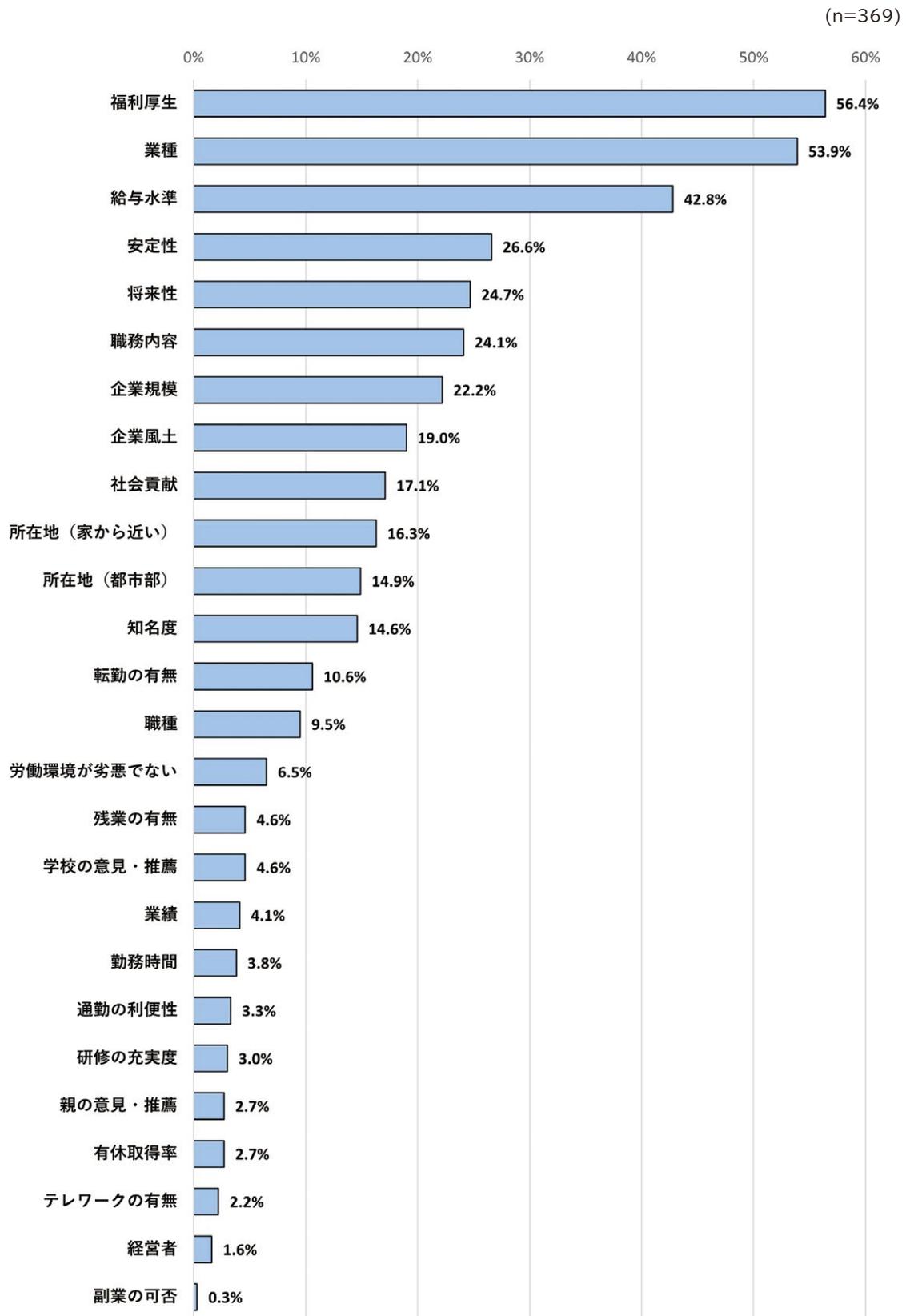


経年比較 (1994~2025年度)

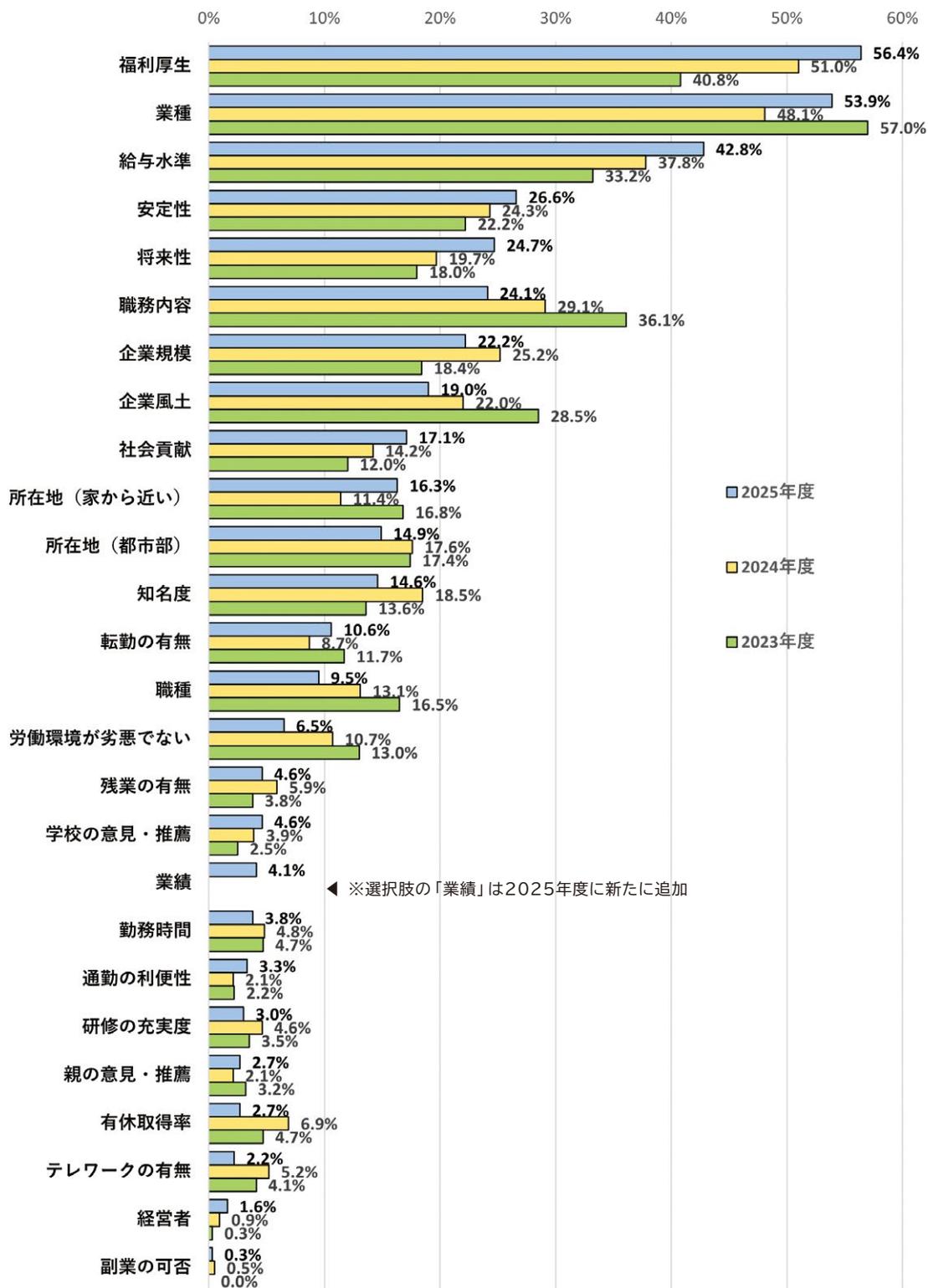


問 4

就職先を選ぶ際に重視した点は何ですか？（5つまで選択可）



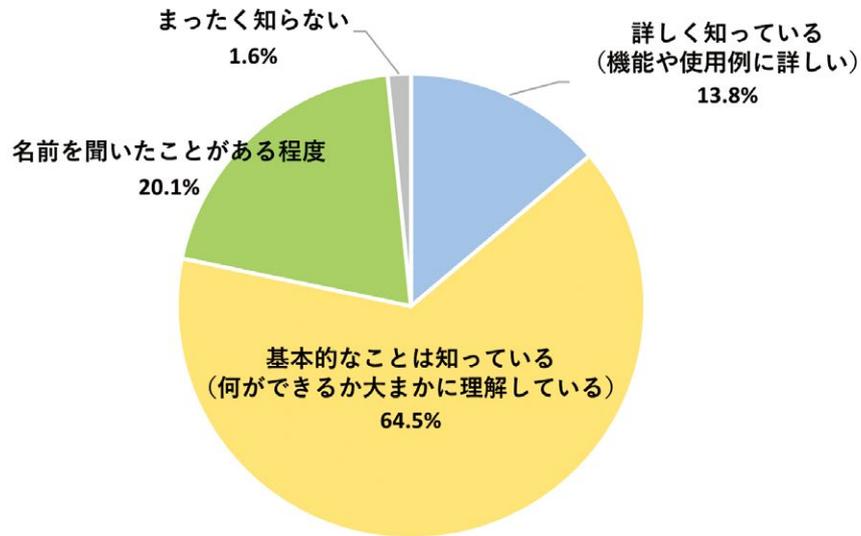
経年比較 (2023~2025年度)



問 5

生成AI（例：ChatGPT、Claude、DeepSeek、Grokなど）についてのどの程度知っていますか？（1つ選択）

(n=369)



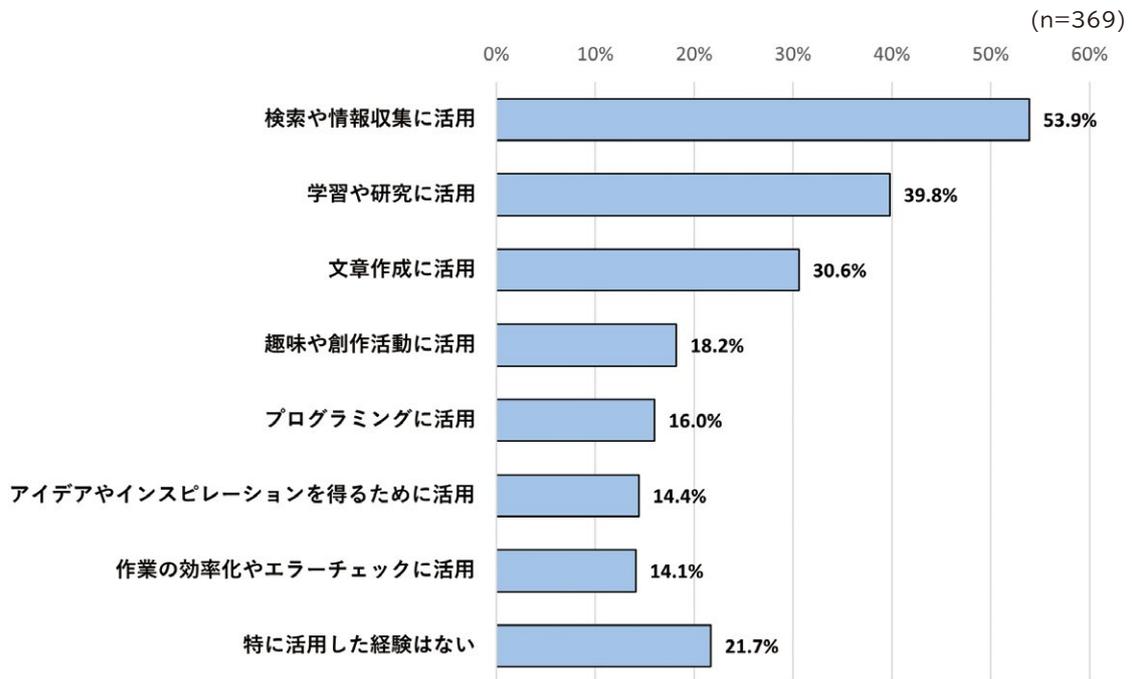
経年比較（2024～2025年度）



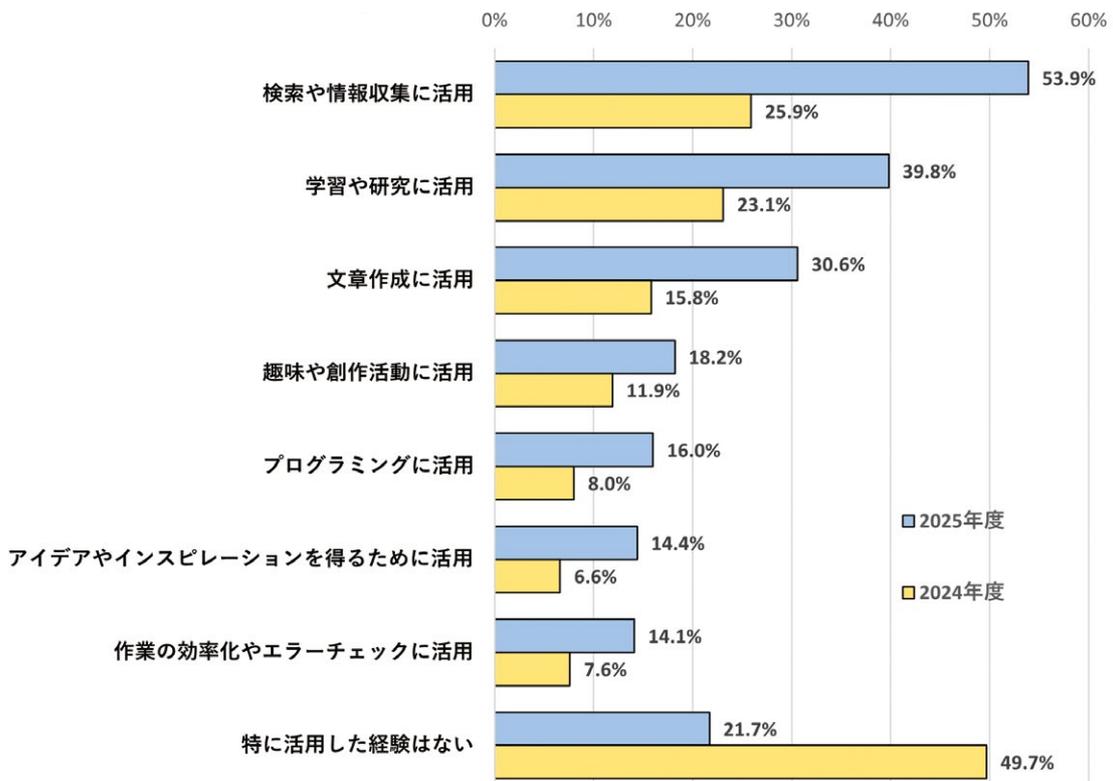
- 詳しく知っている（機能や使用例に詳しい）
- 基本的なことは知っている（何ができるか大まかに理解している）
- 名前を聞いたことがある程度
- まったく知らない

問 6

生成AIを活用した経験がありますか？（複数回答可）



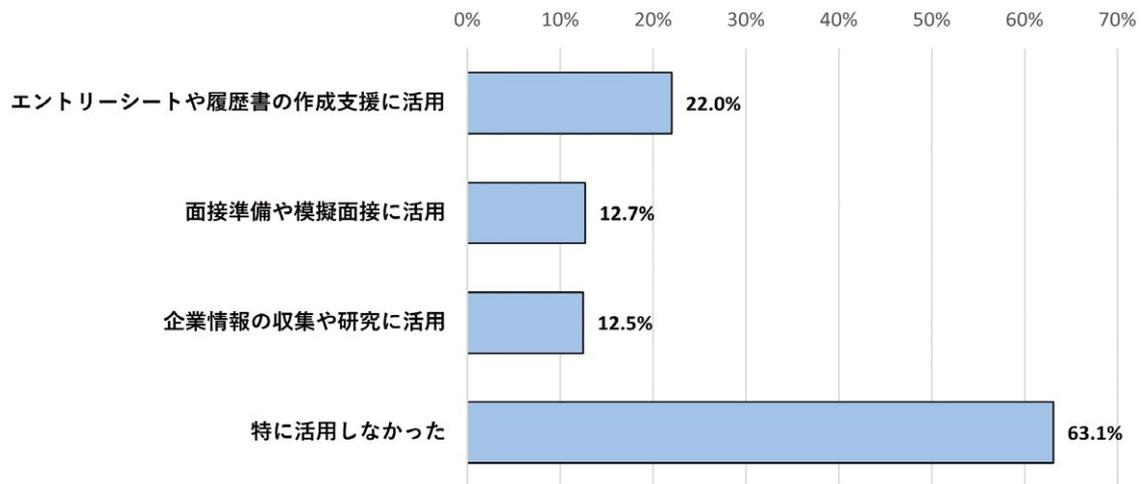
経年比較（2024～2025年度）



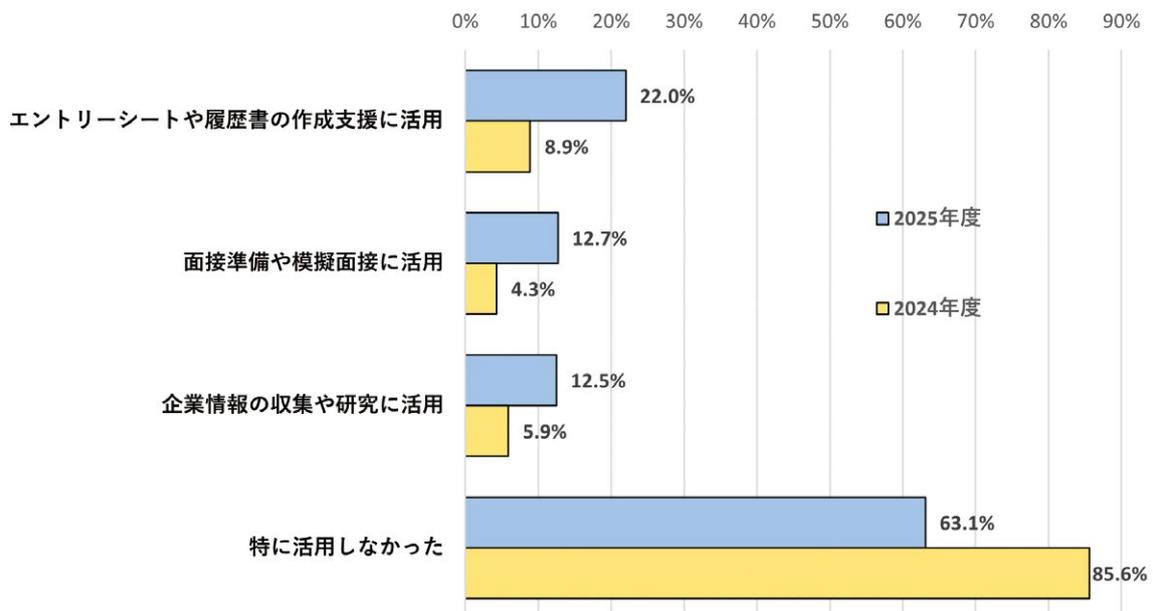
問 7

就職活動において、生成AIを活用しましたか？（複数回答可）

(n=369)



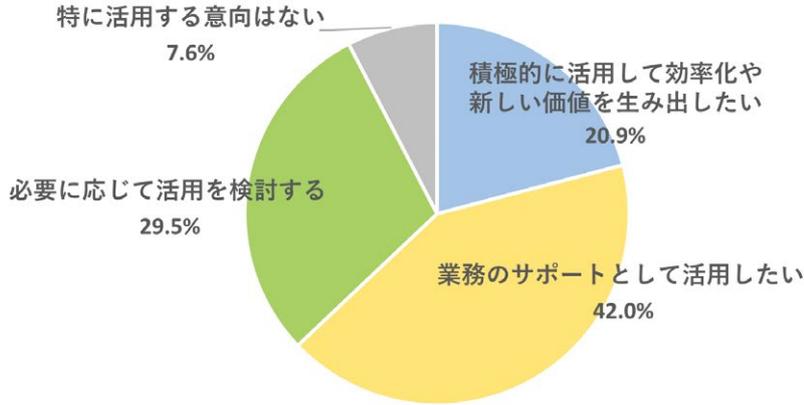
経年比較（2024～2025年度）



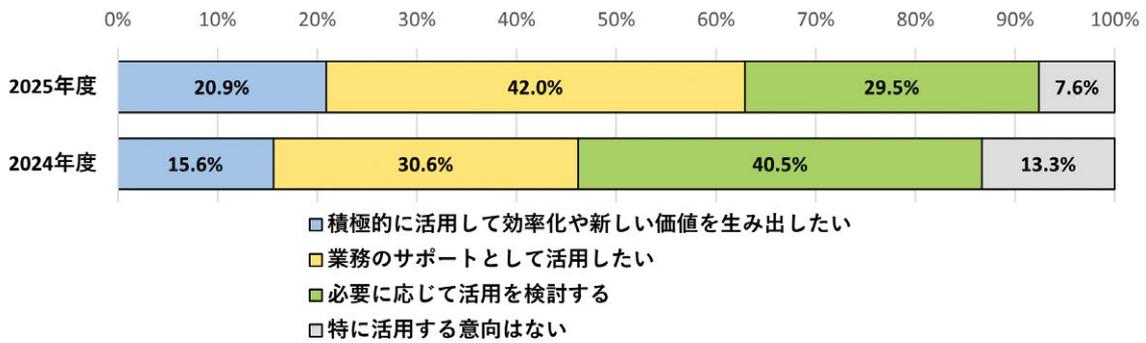
問 8

仕事において、生成AIをどのように活用したいですか？(1つ選択)

(n=369)



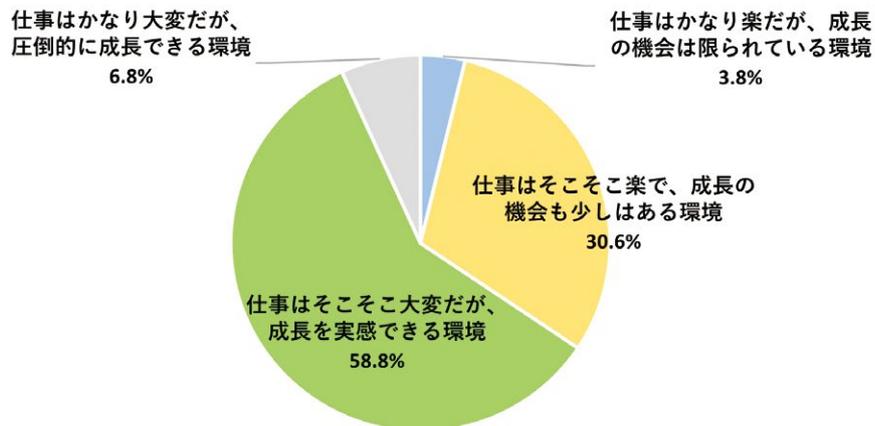
経年比較 (2024~2025年度)



問 9

あなたが「働く」環境として、以下のどれが最も魅力的だと思いますか？(1つ選択)

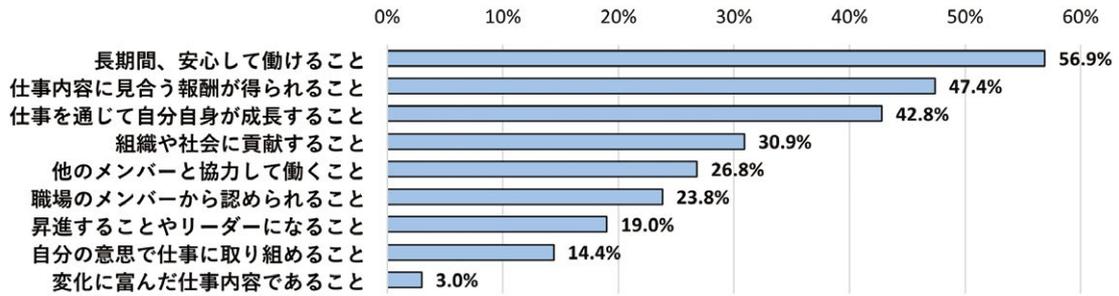
(n=369)



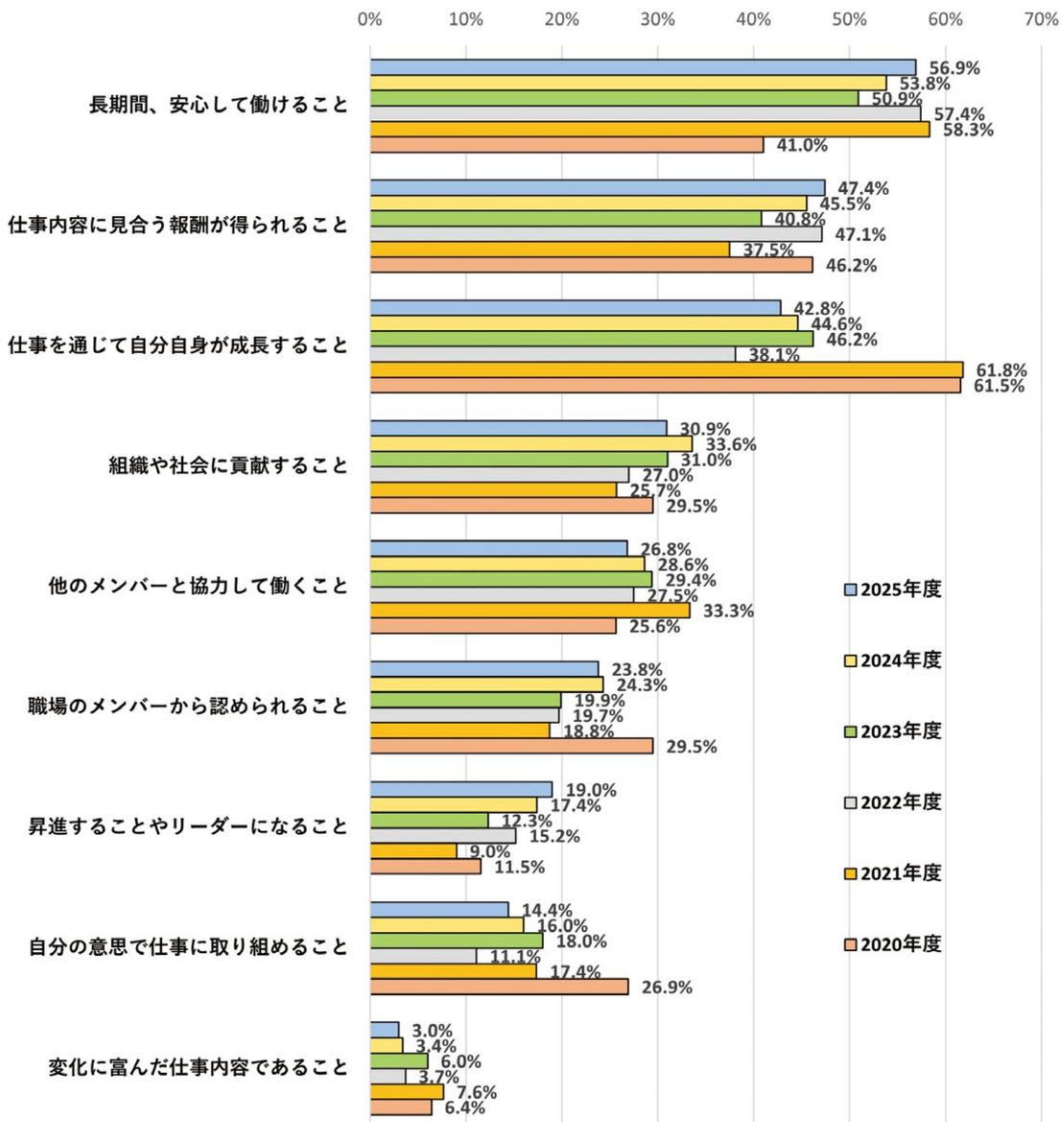
問10

あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？（3つまで選択可）

(n=369)



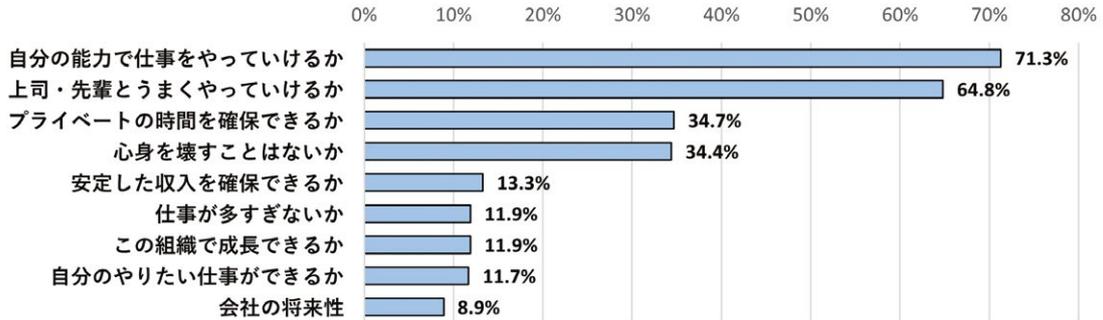
経年比較（2020～2025年度）



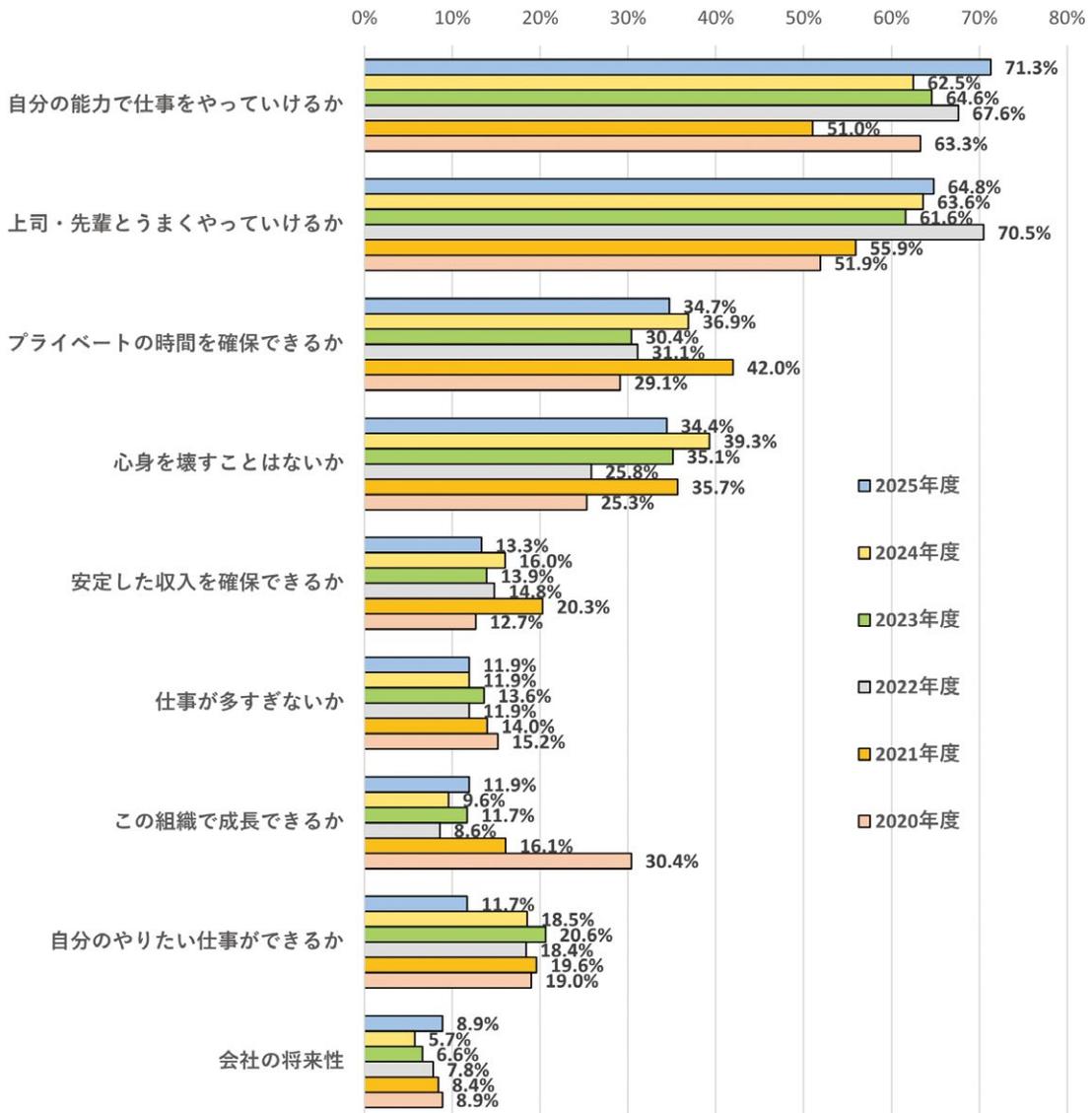
問 11

働き始めるにあたって、不安に思っていることは何ですか？
(3つまで選択可)

(n=369)

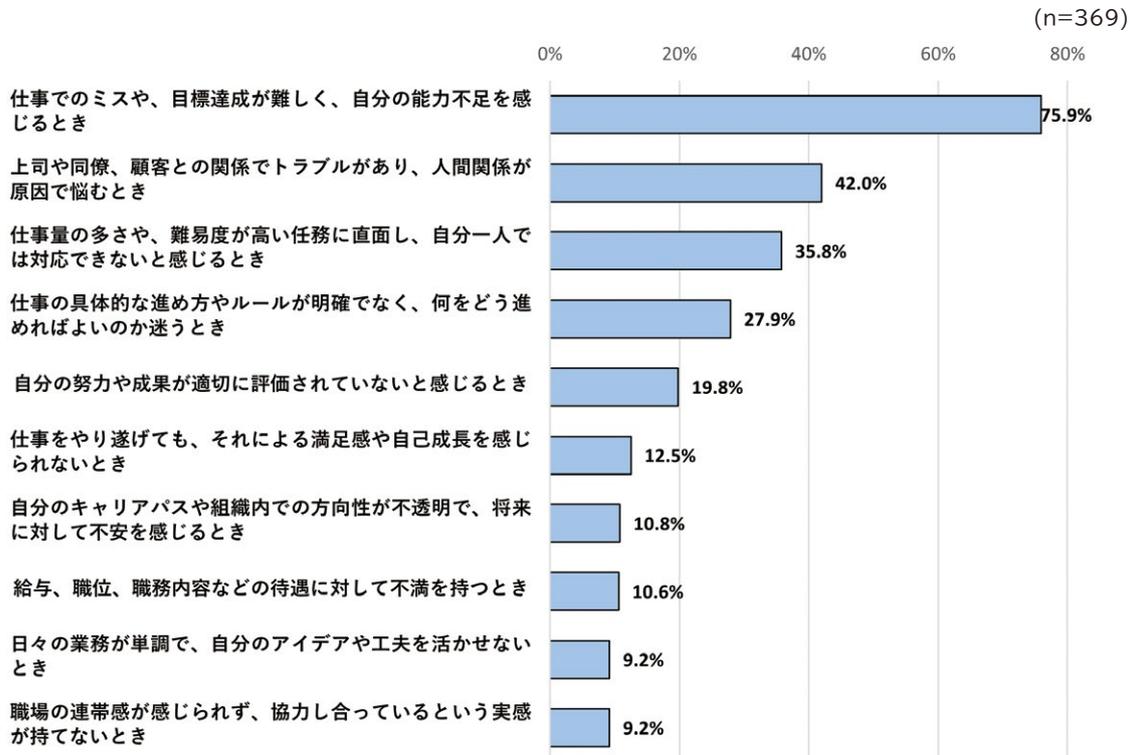


経年比較 (2020~2025年度)

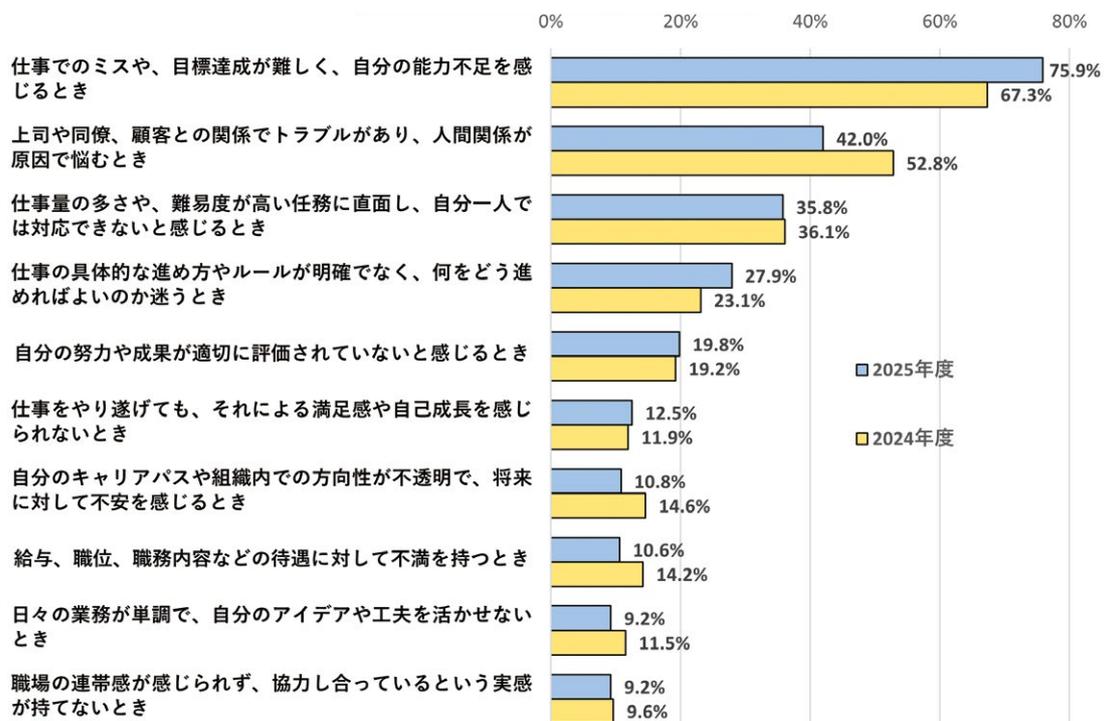


問12

仕事でストレスを感じそうな状況について教えてください。 (3つまで選択)



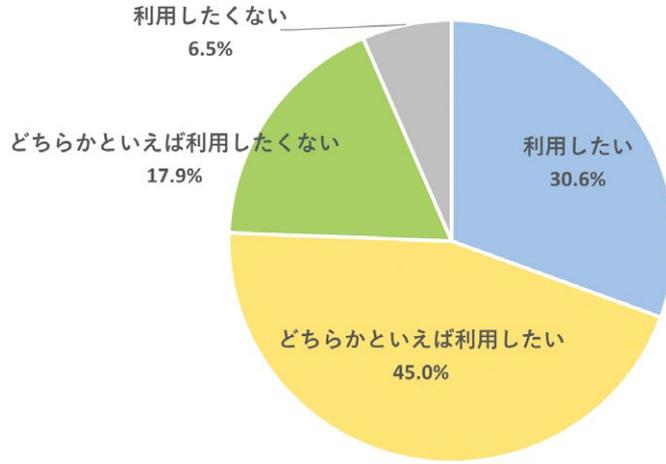
経年比較 (2024~2025年度)



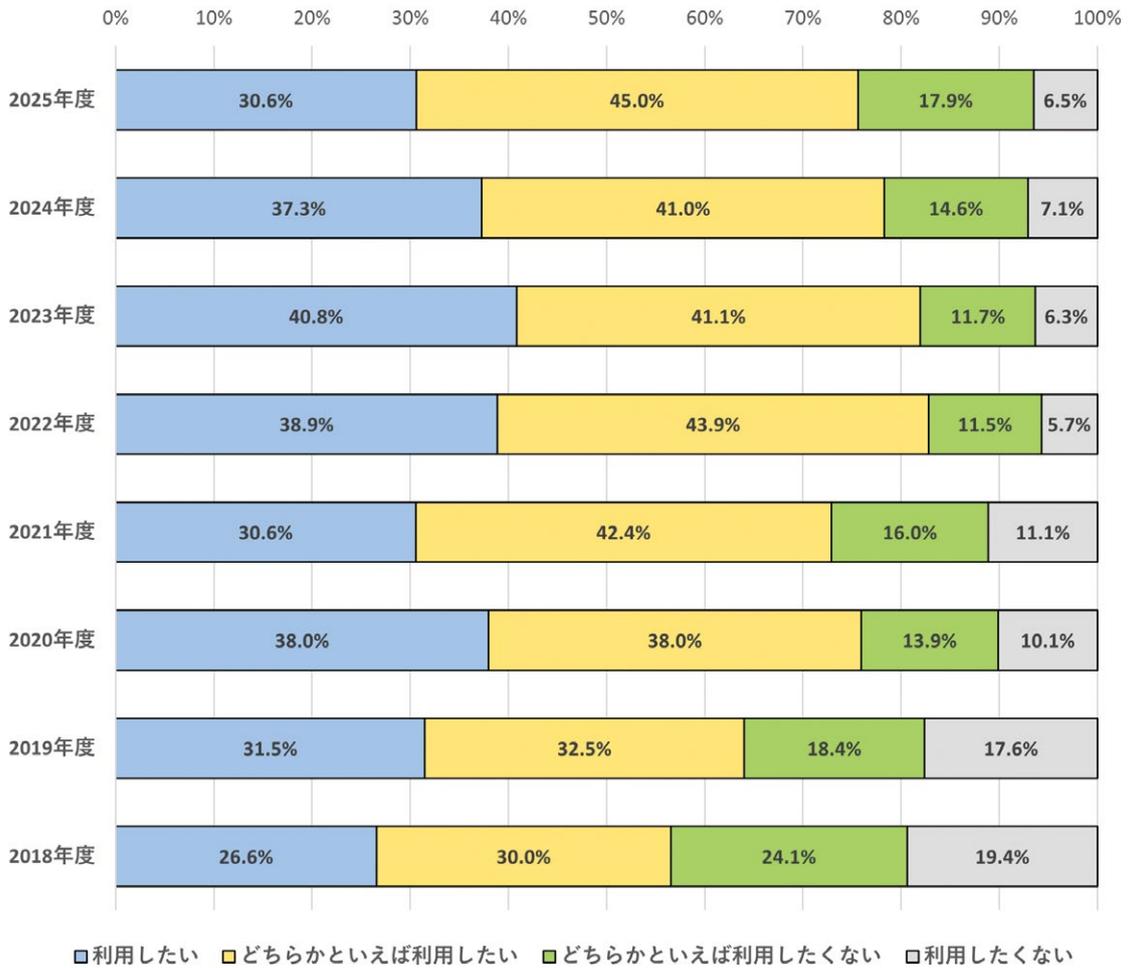
問 13

会社に副業容認制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？
(1つ選択)

(n=369)



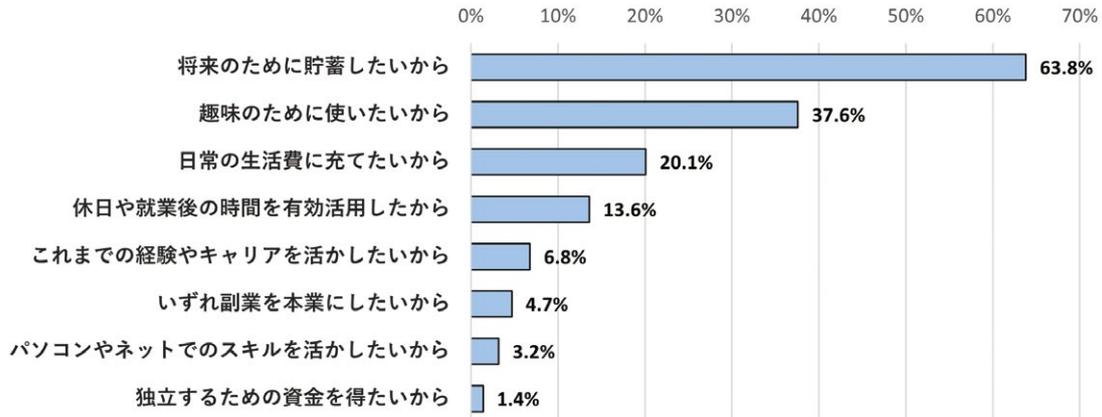
経年比較 (2018~2025年度)



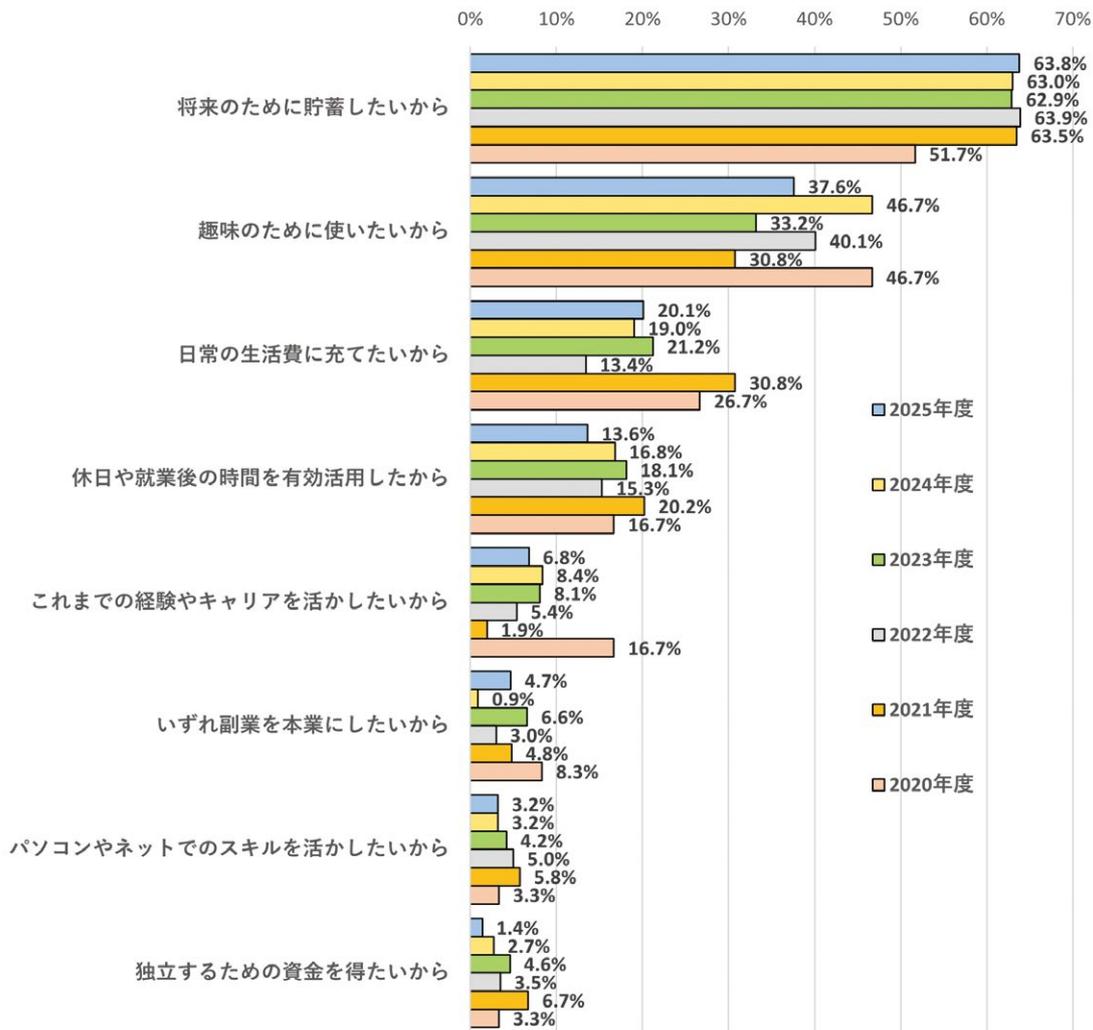
問14

【問13で1または2に回答した方へ】
副業をしたい理由はどれですか？（2つまで選択可）

(n=279)



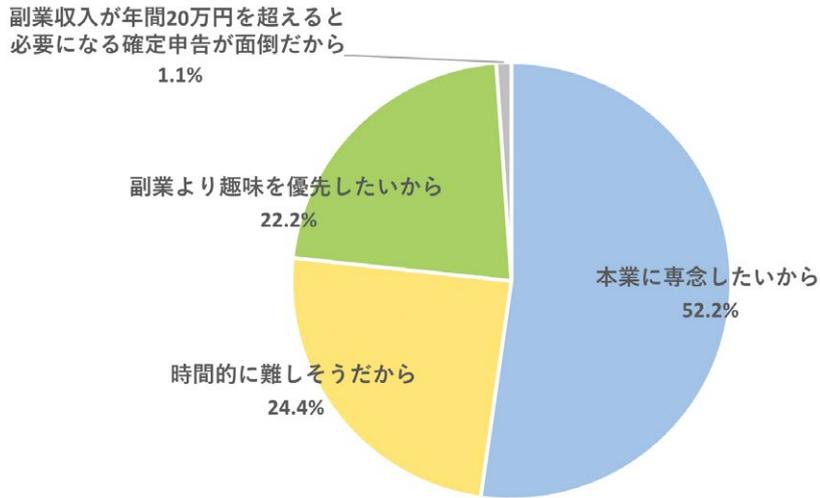
経年比較（2020～2025年度）



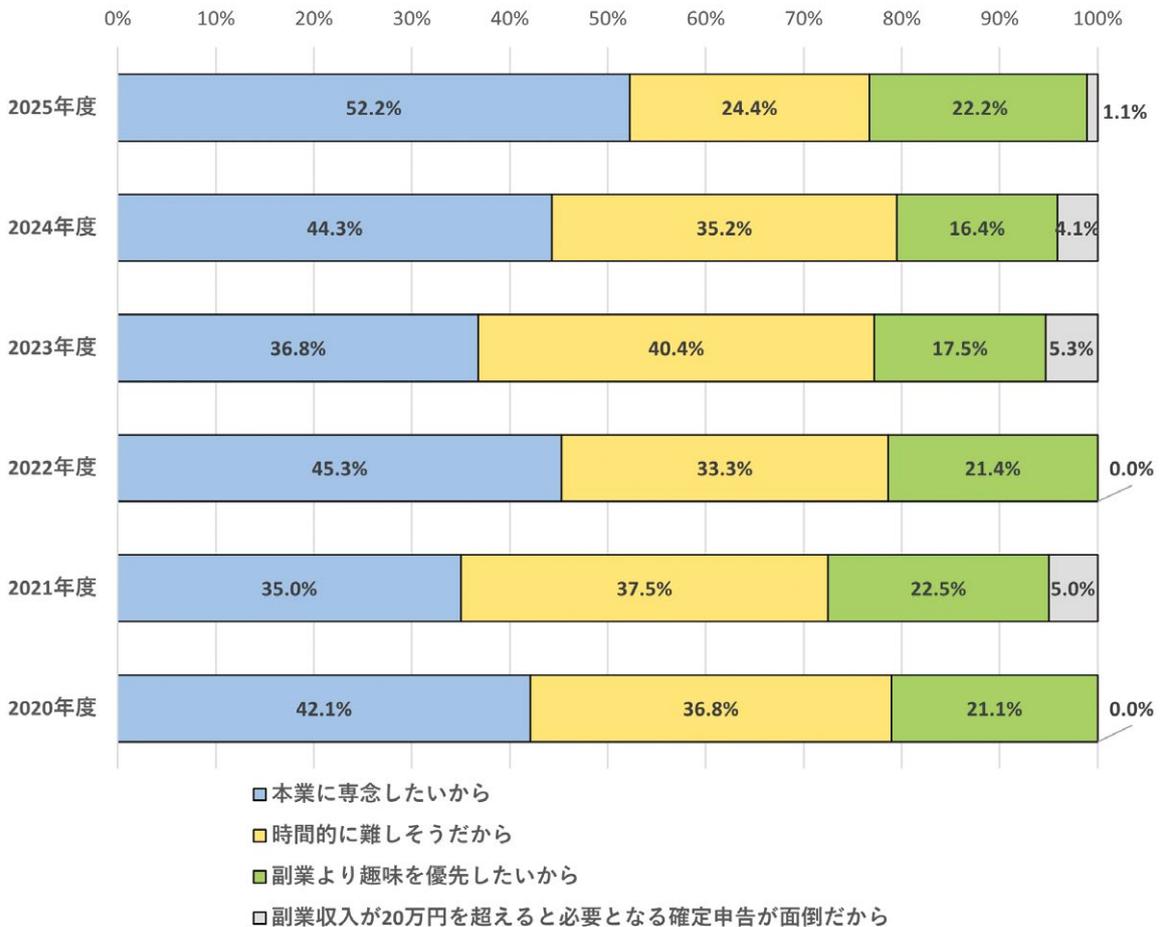
問 15

【問13で3または4に回答した方へ】
副業をしたくない理由はどれですか？（1つ選択）

(n=90)

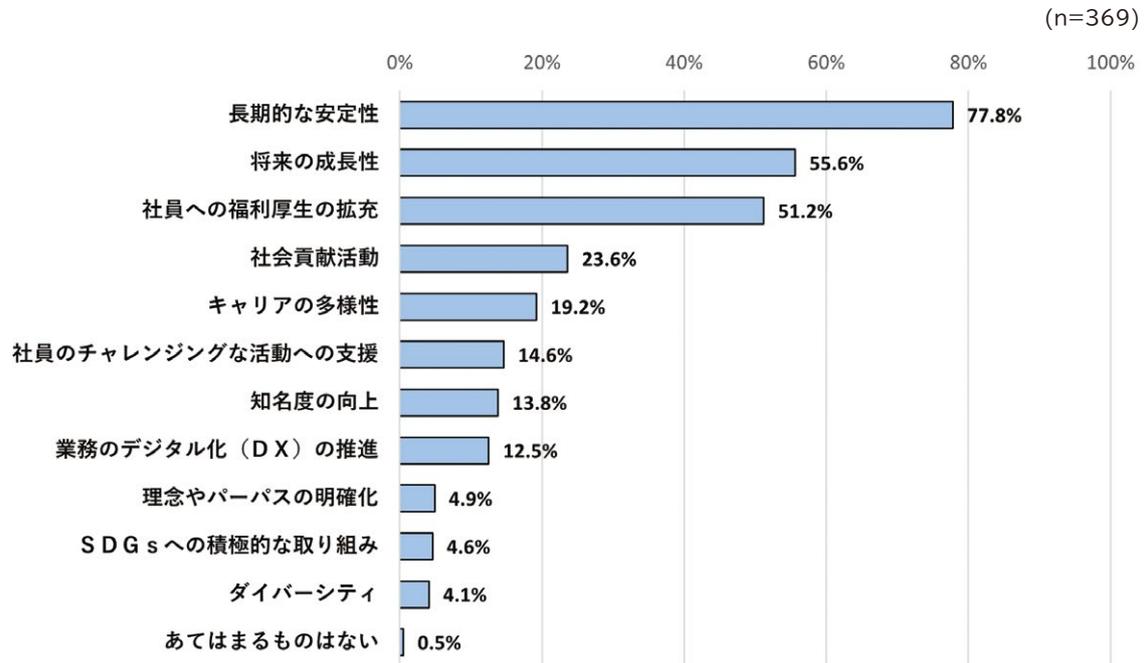


経年比較（2020～2024年度）

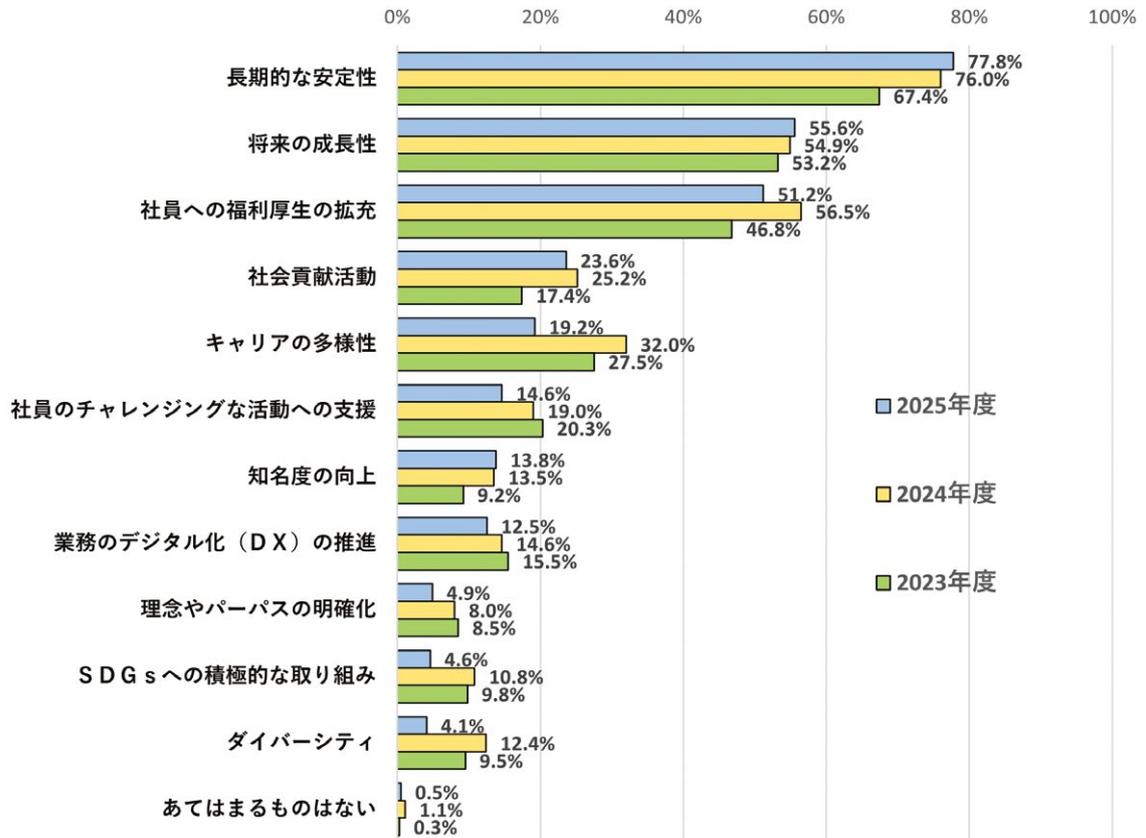


問16

働く上で企業に求めるものは何ですか？
(あてはまるものをすべて選択)

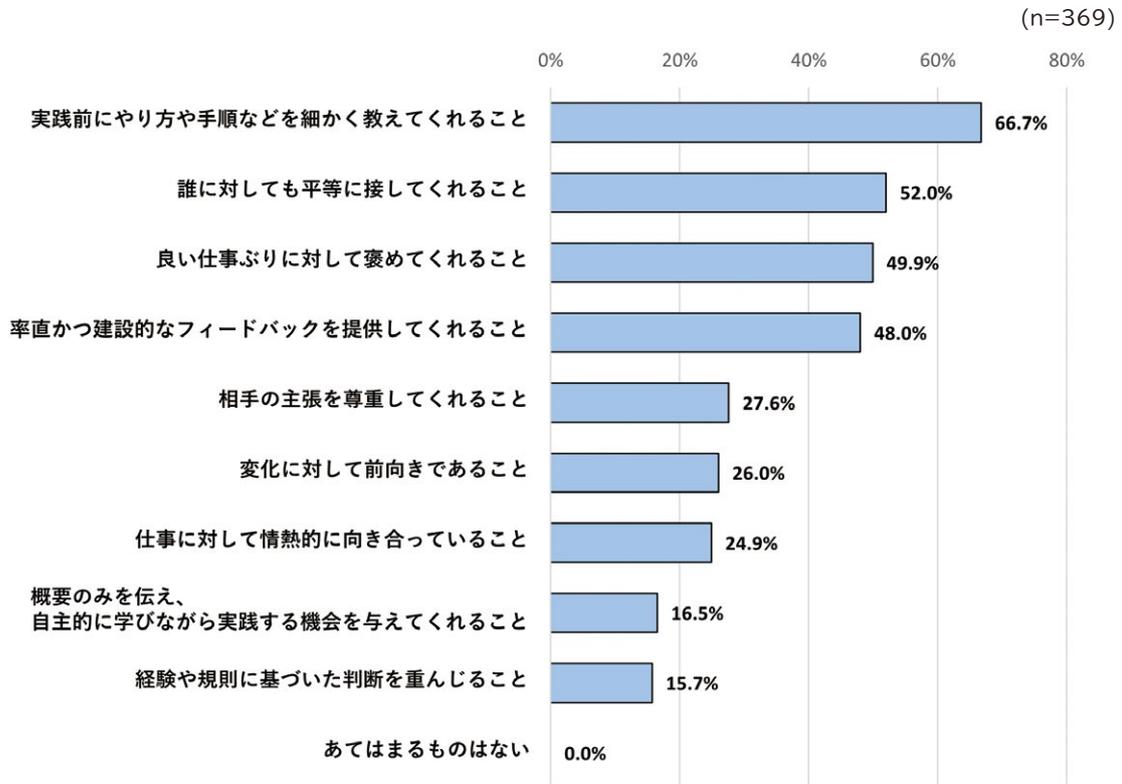


経年比較 (2023~2025年度)

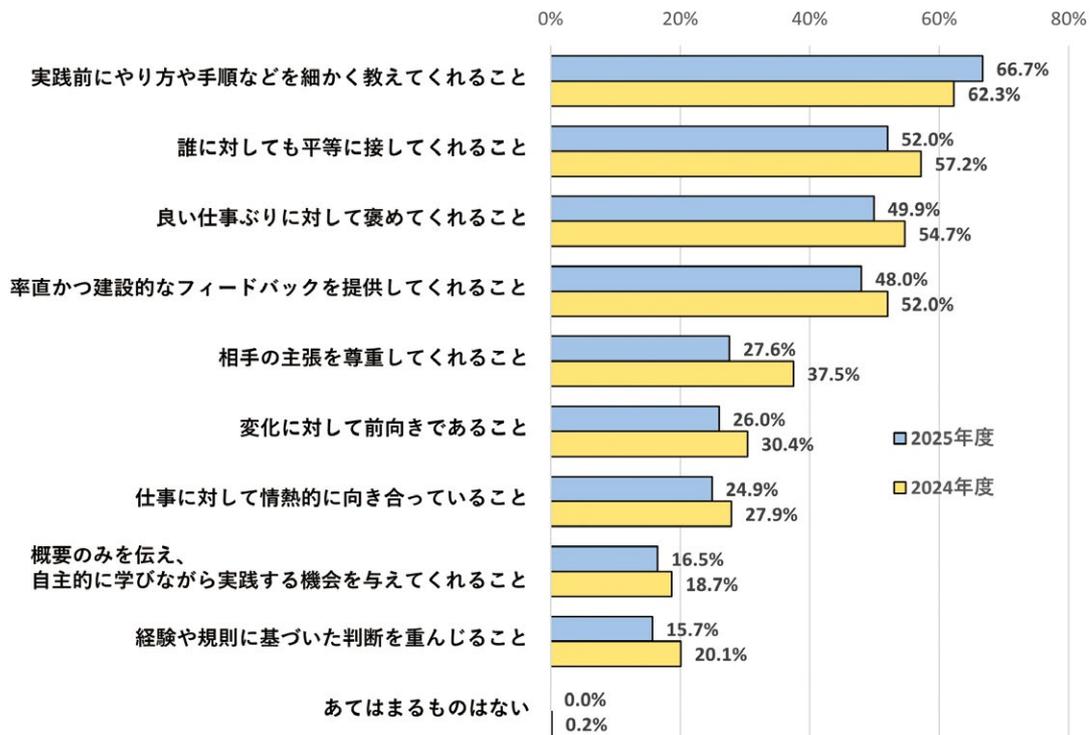


問17

働く上で上司や先輩に期待することは何ですか？ (あてはまるものをすべて選択)



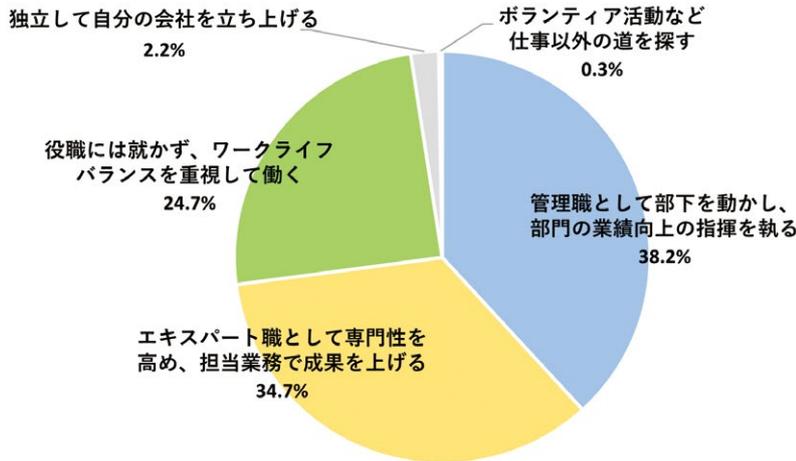
経年比較 (2024~2025年度)



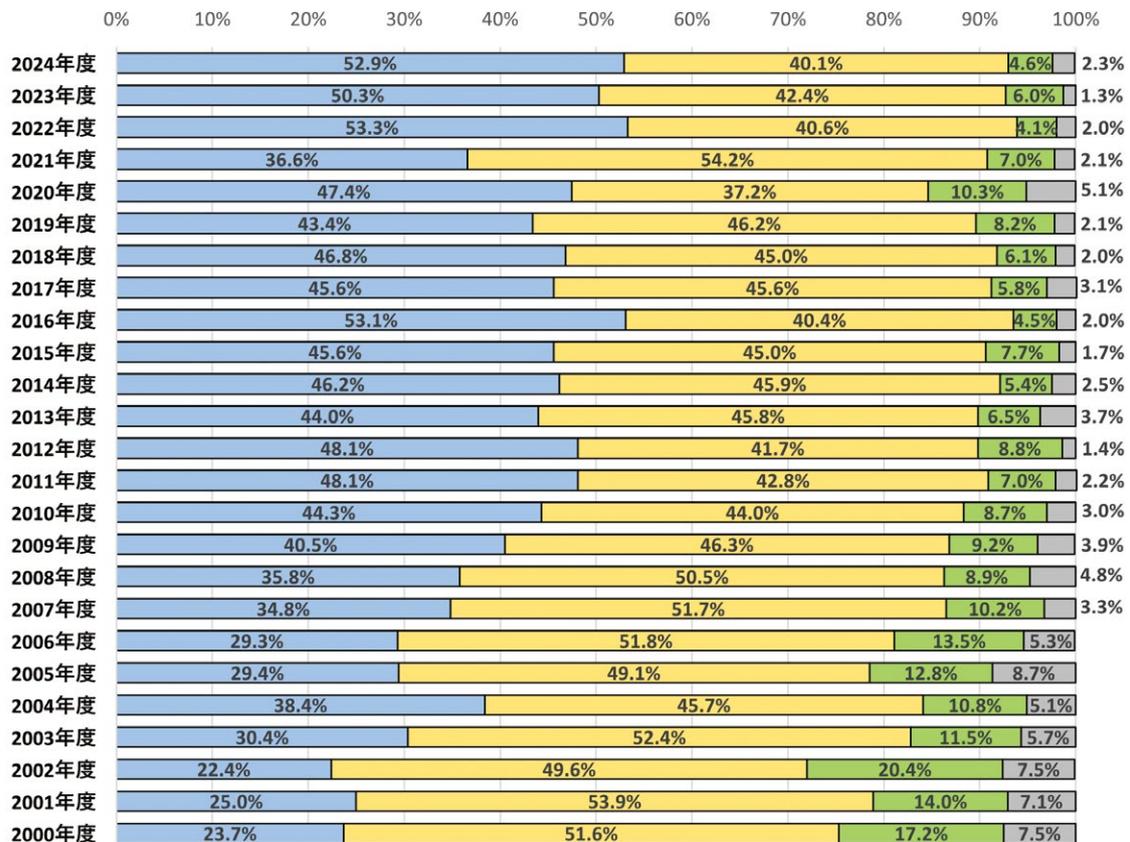
問 18

将来のキャリアについてどのように考えていますか？(1つ選択)

注：2024年度までの「役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる」を“役職には就かずワークライフバランスを重視”と“エキスパート職として専門性を高め、担当業務で成果を上げる”に分けた選択肢に変更 (n=369)



経年比較 (2000~2024年度) 注：[参考]2024年度までの選択肢

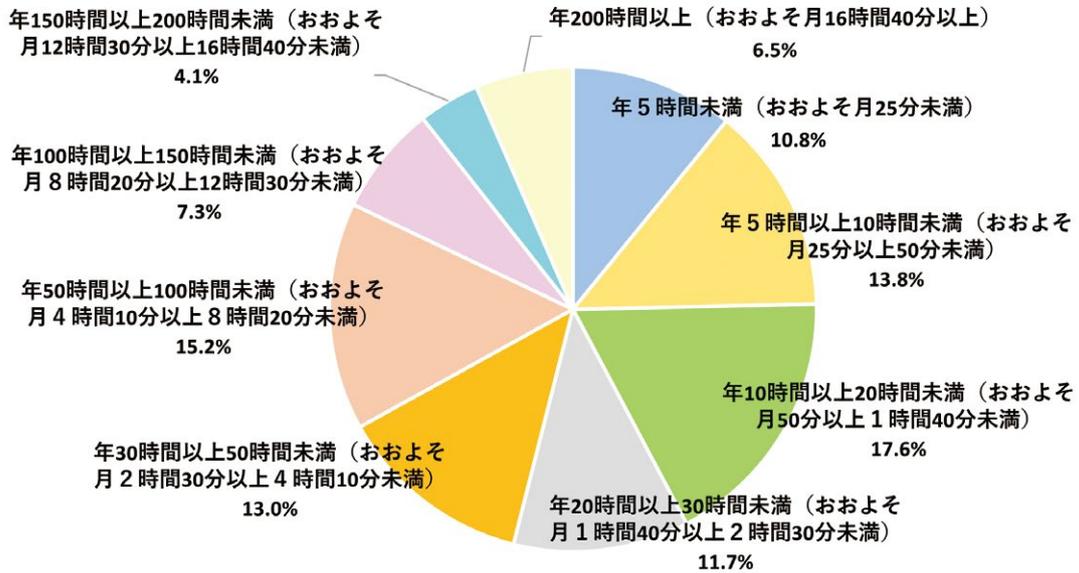


- 管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る
- 役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる
- 独立して自分の会社を立ち上げる
- ボランティア活動など仕事以外の道を探す

問 19

就業時間外や休日において、どの程度の時間を自己啓発 (=仕事とは別に自分自身の主体的な意思で学ぶこと) に充てたいと思いますか？ (1つ選択)

(n=369)



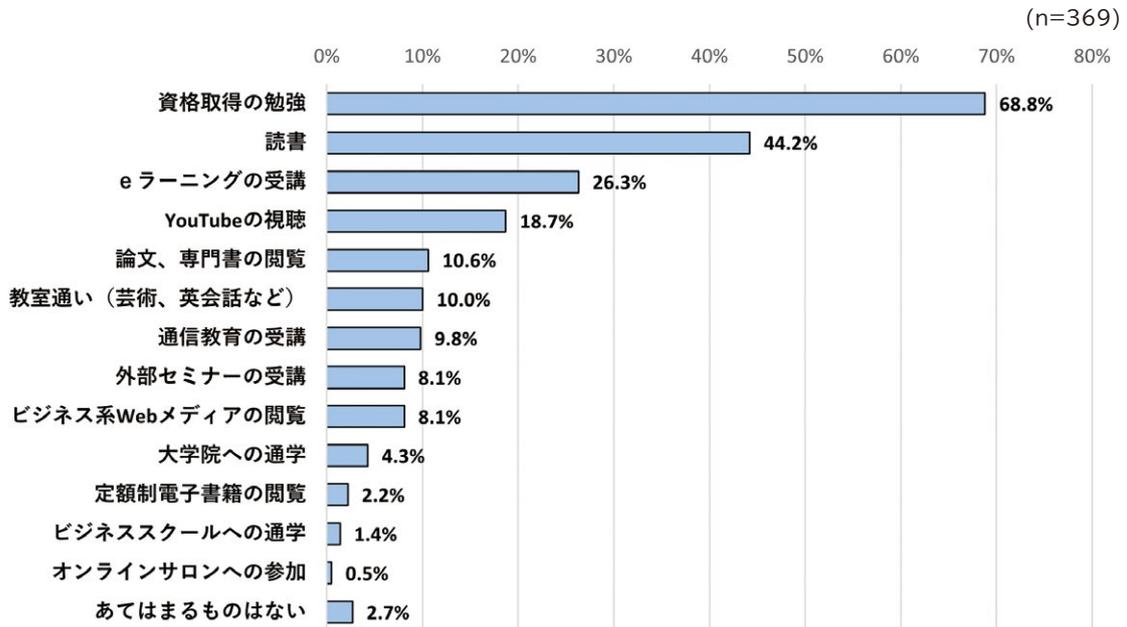
経年比較 (2023~2025年度)



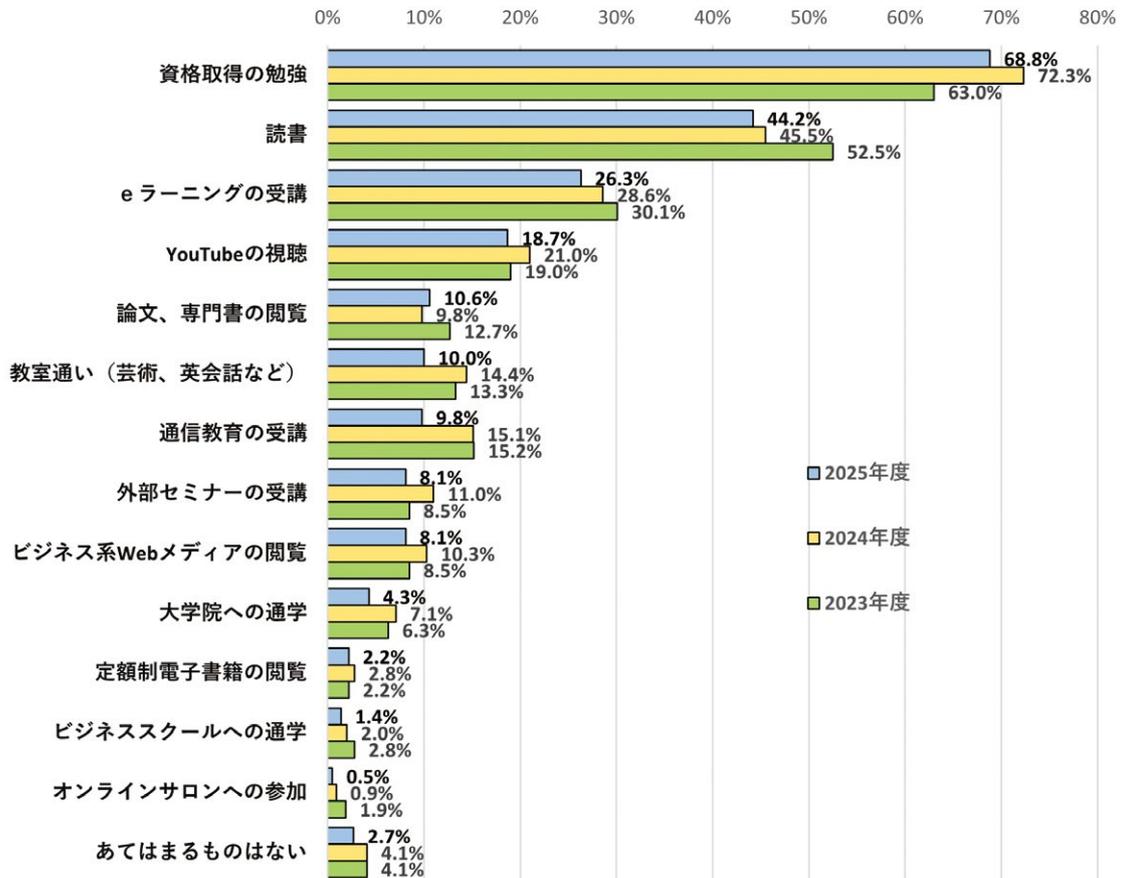
- 年5時間未満 (おおよそ月25分未満)
- 年5時間以上10時間未満 (おおよそ月25分以上50分未満)
- 年10時間以上20時間未満 (おおよそ月50分以上1時間40分未満)
- 年20時間以上30時間未満 (おおよそ月1時間40分以上2時間30分未満)
- 年30時間以上50時間未満 (おおよそ月2時間30分以上4時間10分未満)
- 年50時間以上100時間未満 (おおよそ月4時間10分以上8時間20分未満)
- 年100時間以上150時間未満 (おおよそ月8時間20分以上12時間30分未満)
- 年150時間以上200時間未満 (おおよそ月12時間30分以上16時間40分未満)
- 年200時間以上 (おおよそ月16時間40分以上)

問 20

自己啓発をするのであれば、どのような「学習手段」を
活用したいですか？（あてはまるものをすべて選択）

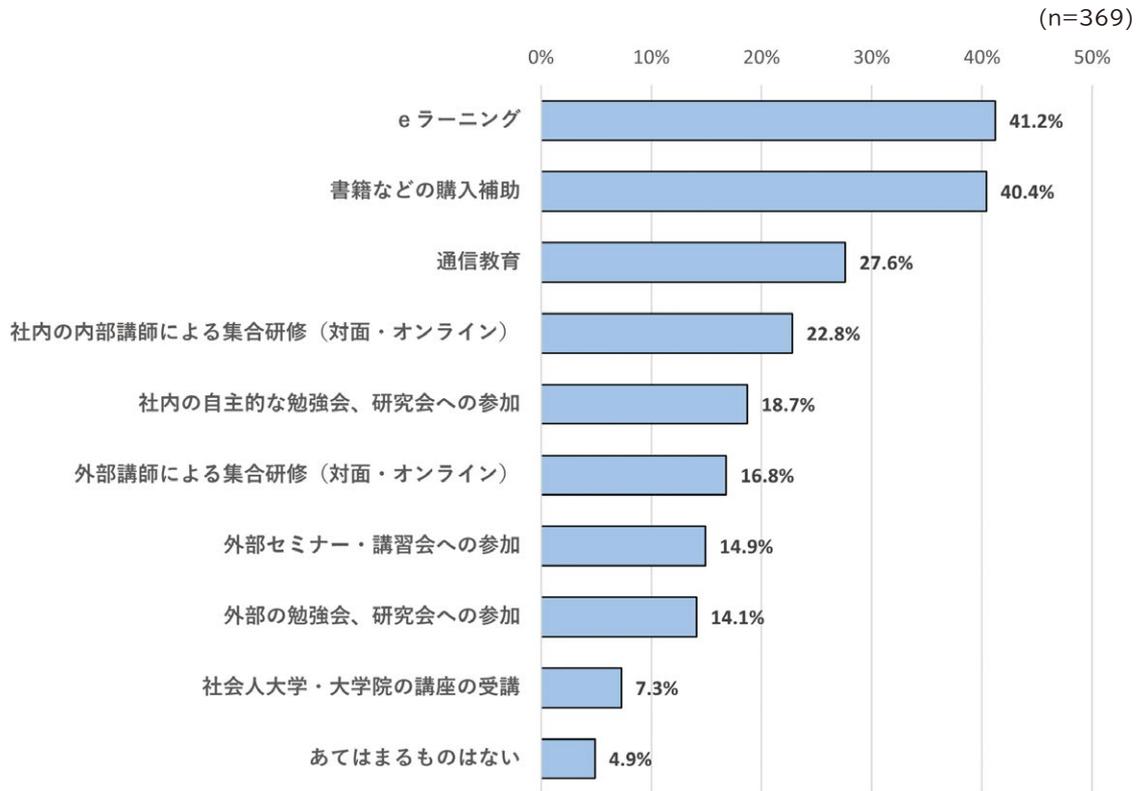


経年比較（2023～2025年度）

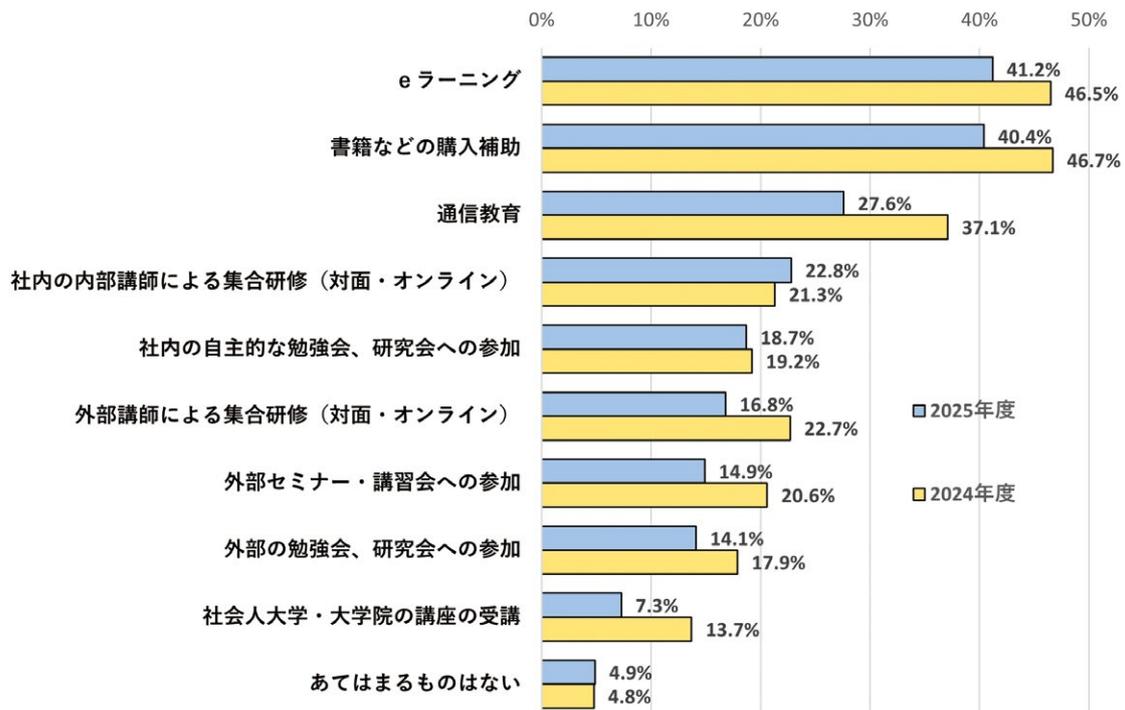


問 21

会社から教育支援を受けるとしたら、どのような「教育手段」を実施してほしいですか？（あてはまるものをすべて選択）



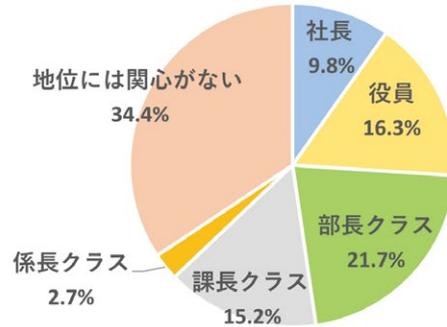
経年比較（2024～2025年度）



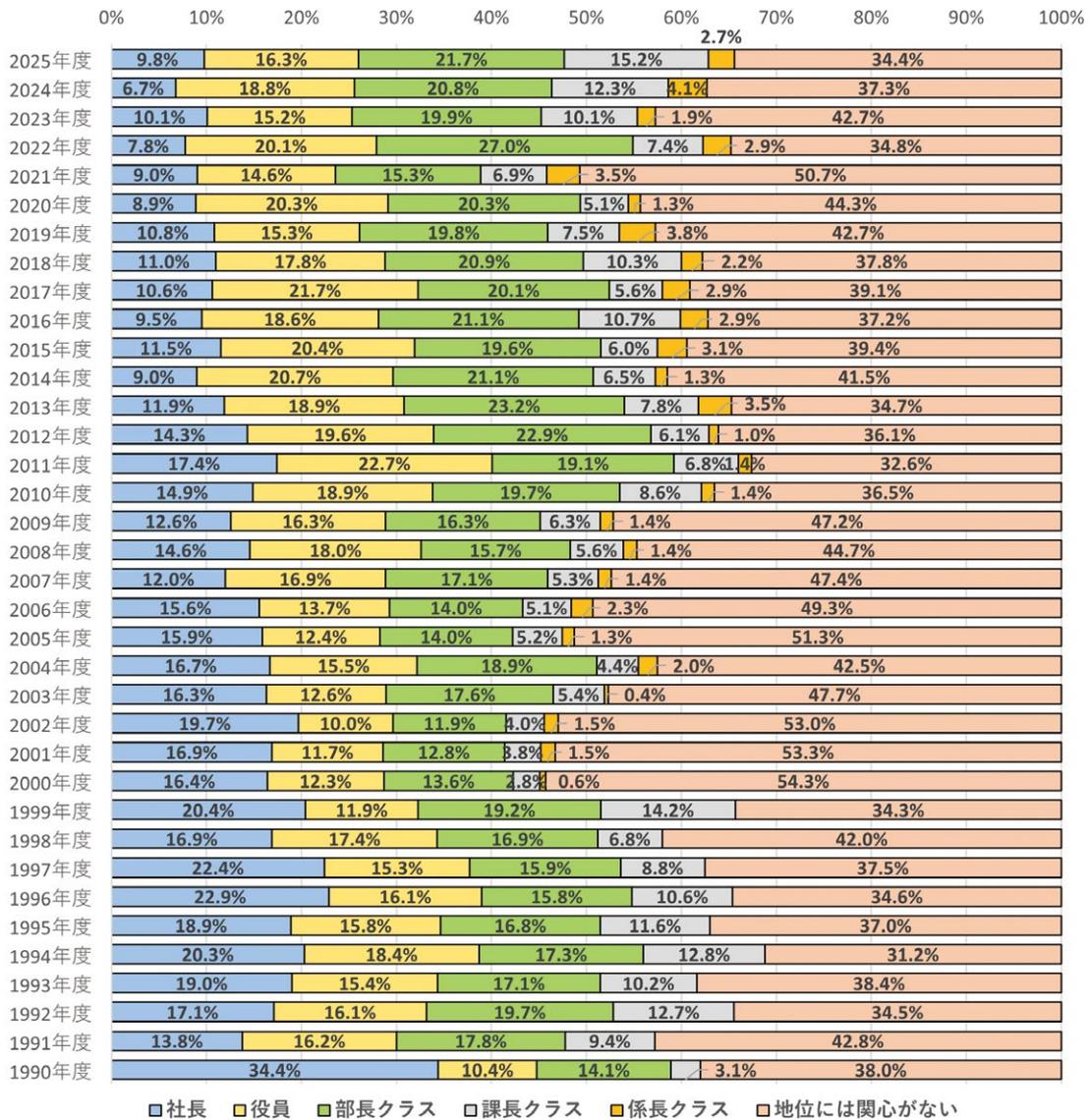
問 22

あなたが最終的に目標とする役職・地位は？(1つ選択)

(n=369)



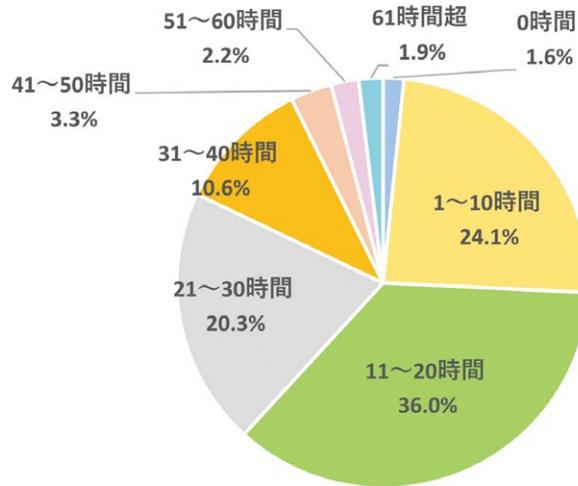
経年比較(1990~2025年度) 注: 2000年度から選択肢に「係長クラス」を追加



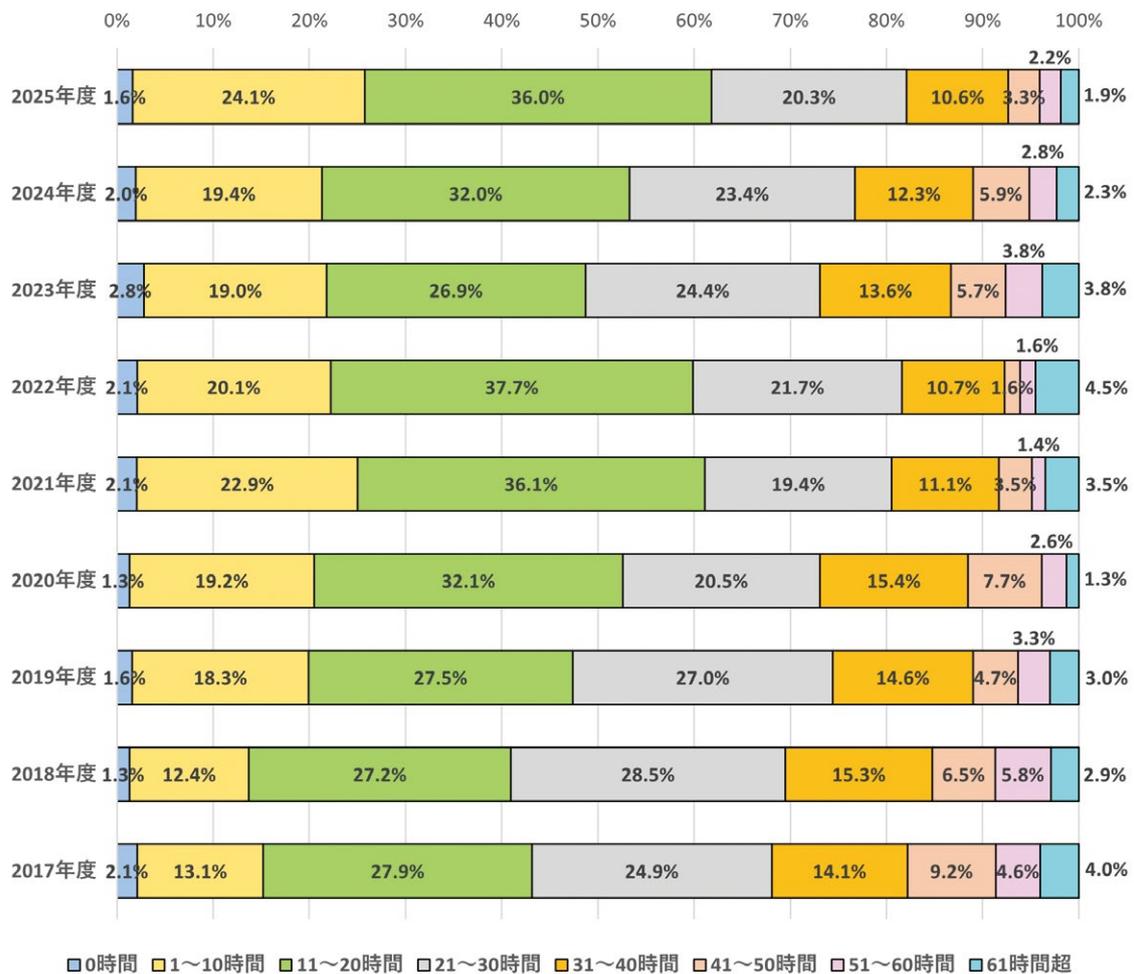
問 23

1か月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？
(1つ選択)

(n=369)



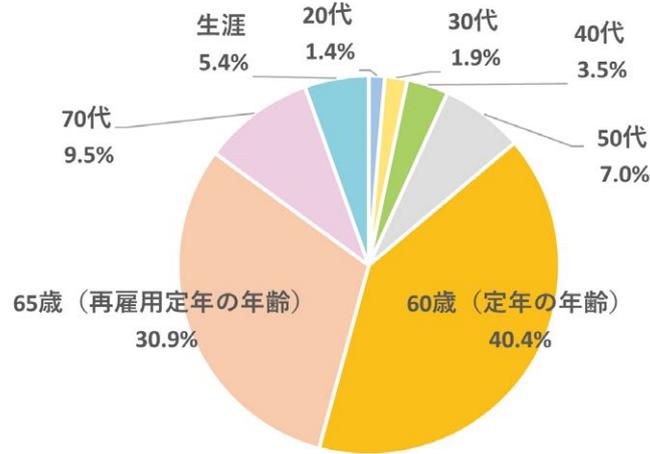
経年比較 (2017~2025年度)



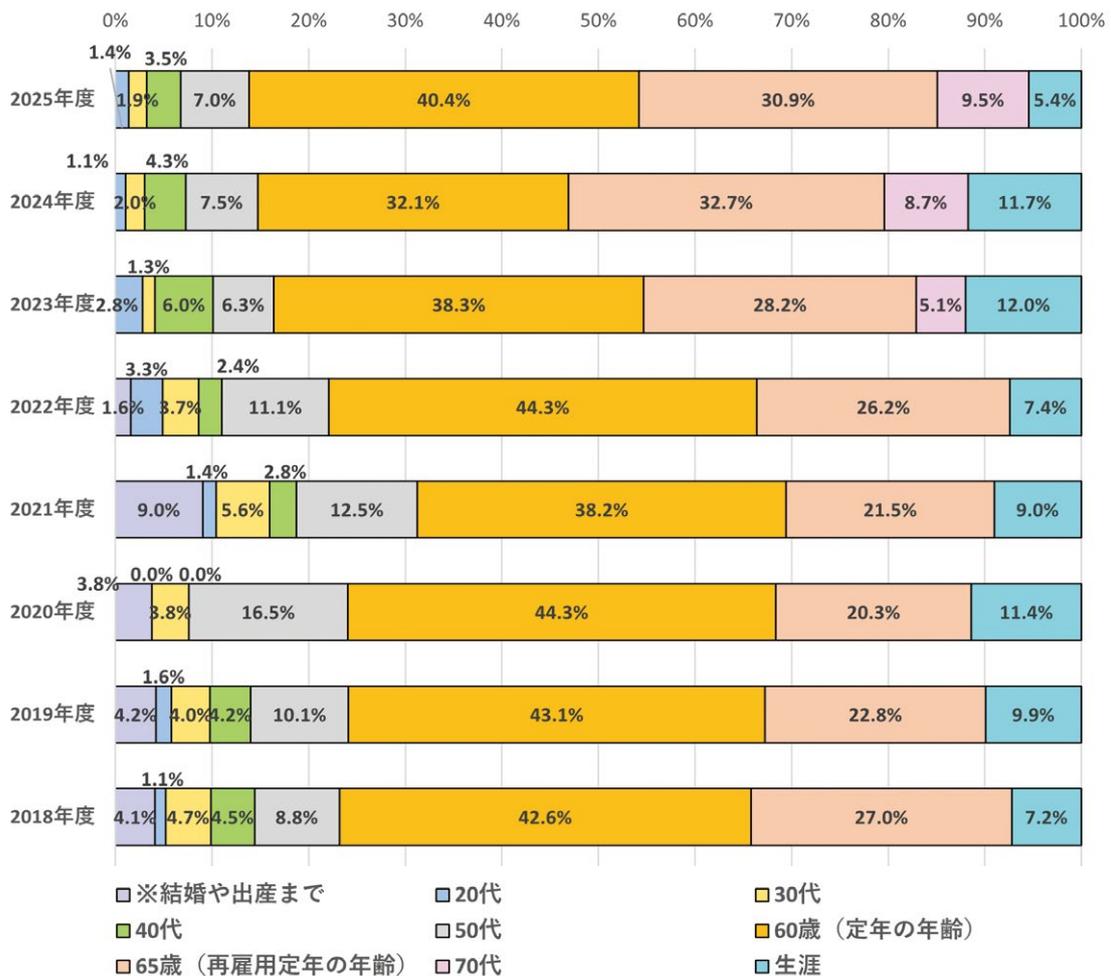
問 24

“人生100年時代”と言われている中で、あなたはいつまで被雇用者（会社勤めなど）として働きたいと思いますか？（1つ選択）

(n=369)



経年比較（2018～2025年度）

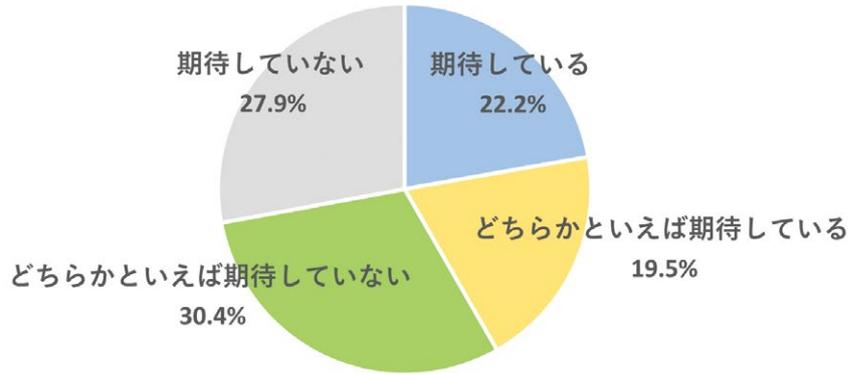


注：2023年度から「結婚や出産まで」を削除し、「70代」を追加

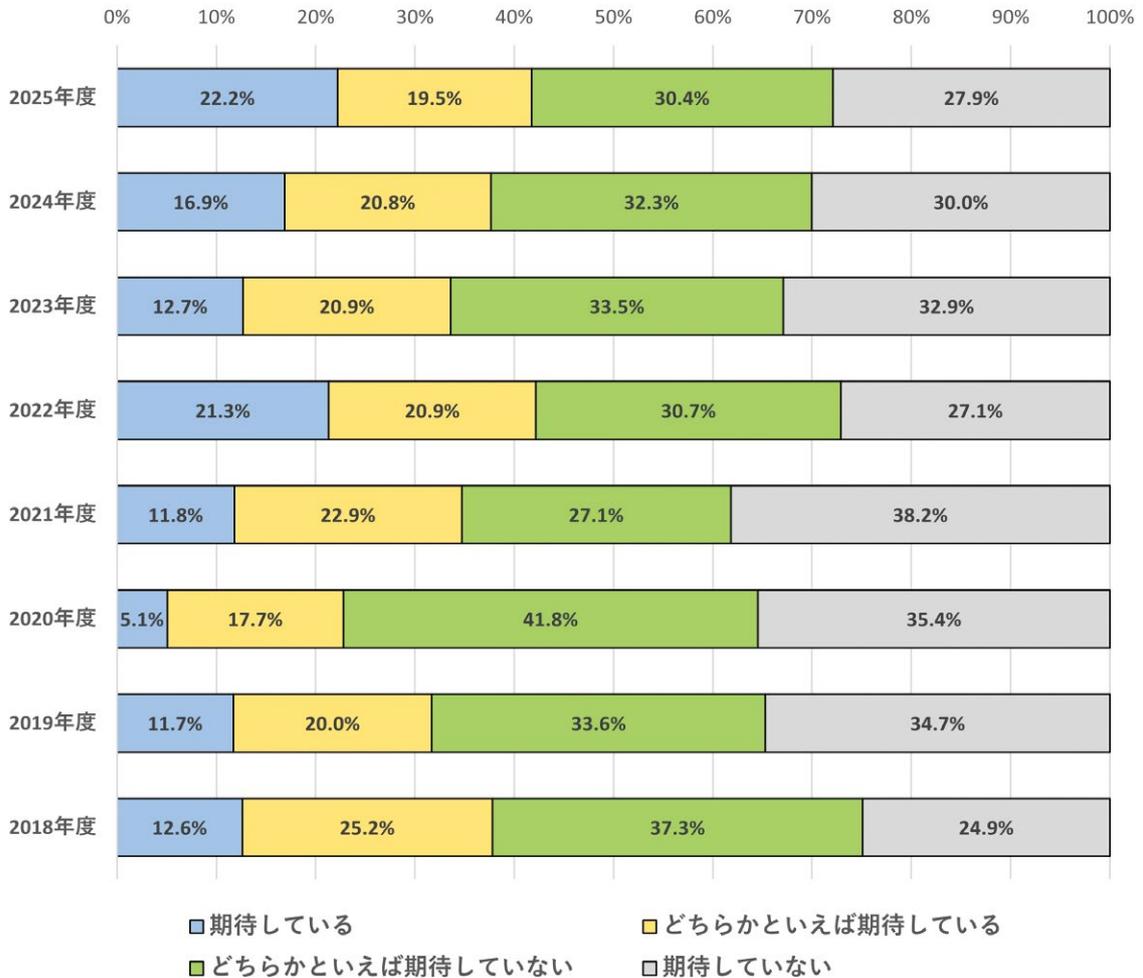
問 25

将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？（1つ選択）

(n=369)



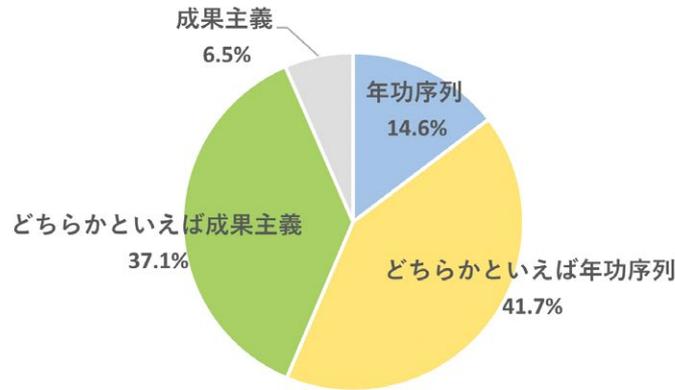
経年比較（2018～2025年度）



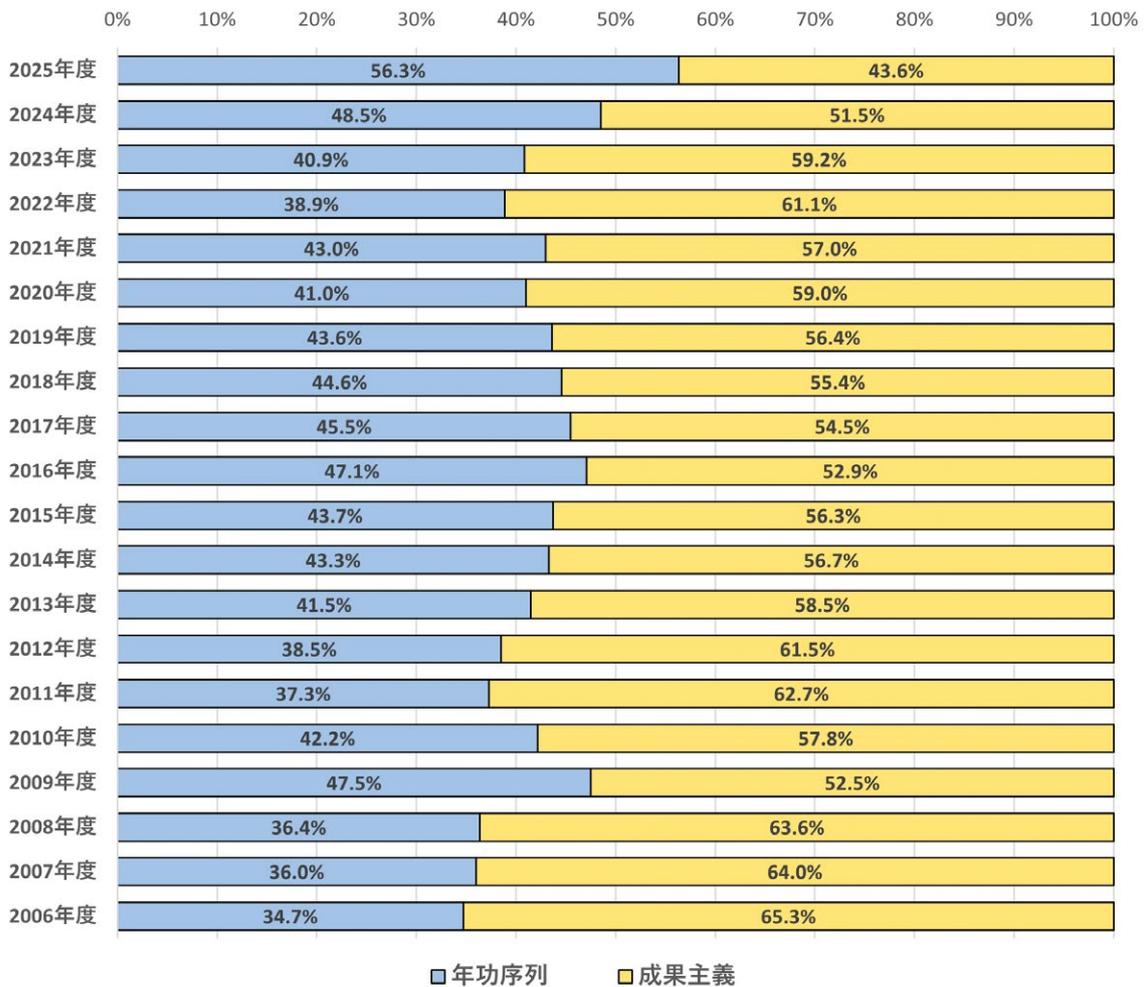
問 26

年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的な人事制度ではどちらを望みますか？(1つ選択)

(n=369)



経年比較 (2006~2025年度)

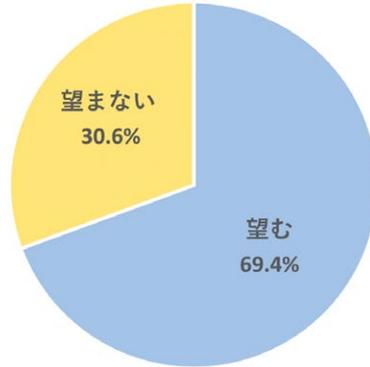


注：2023年度から「どちらかといえば年功序列」を「年功序列」に、「どちらかといえば成果主義」を「成果主義」にそれぞれ合算

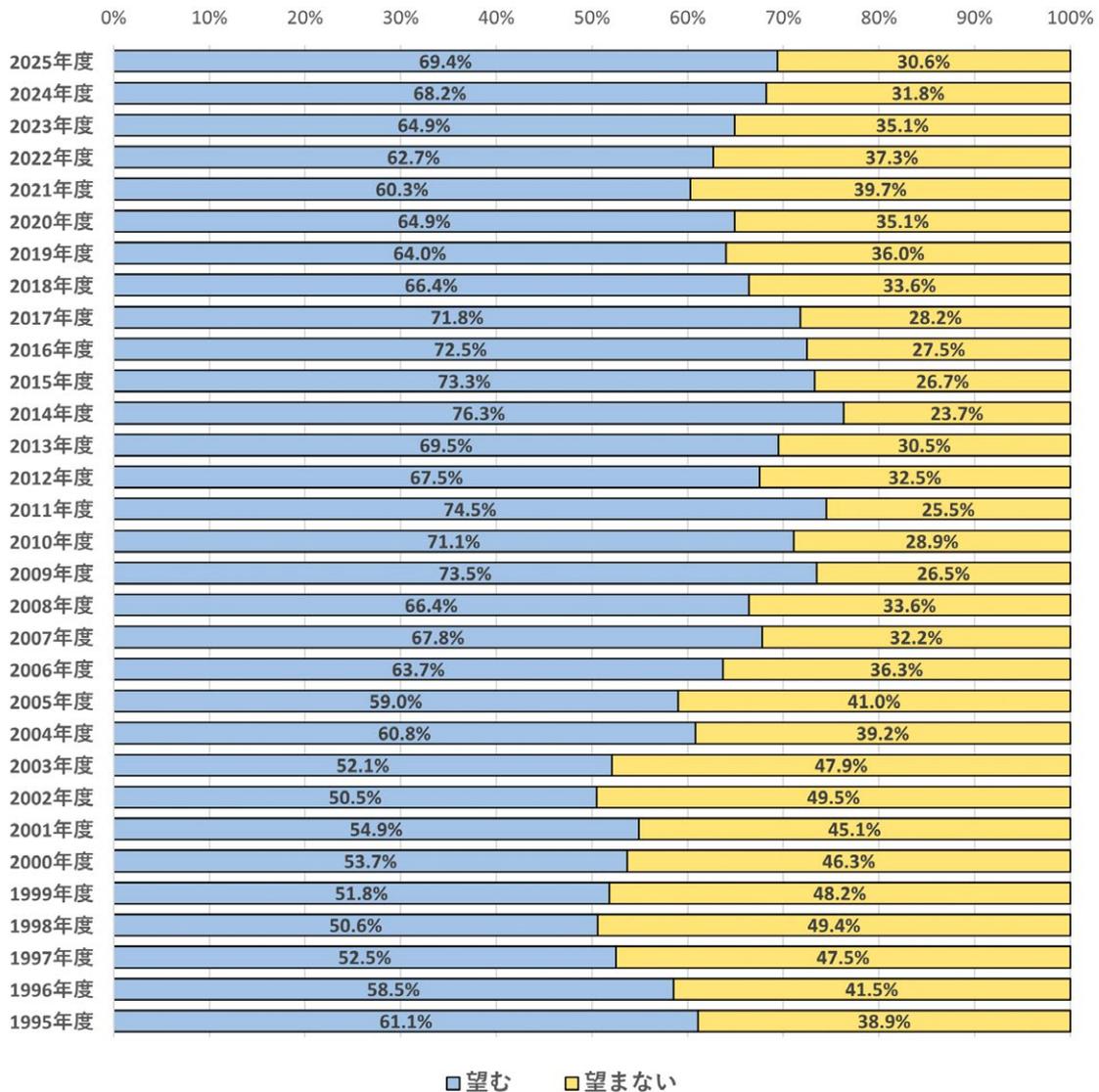
問 27

“終身雇用制度”を望みますか？(1つ選択)

(n=369)



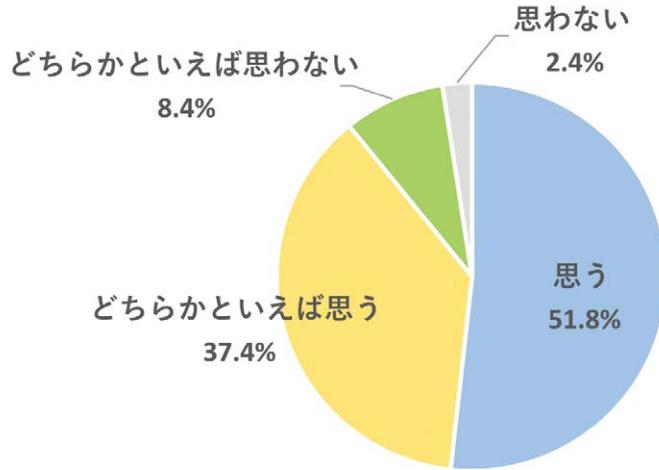
経年比較 (1994~2025年度)



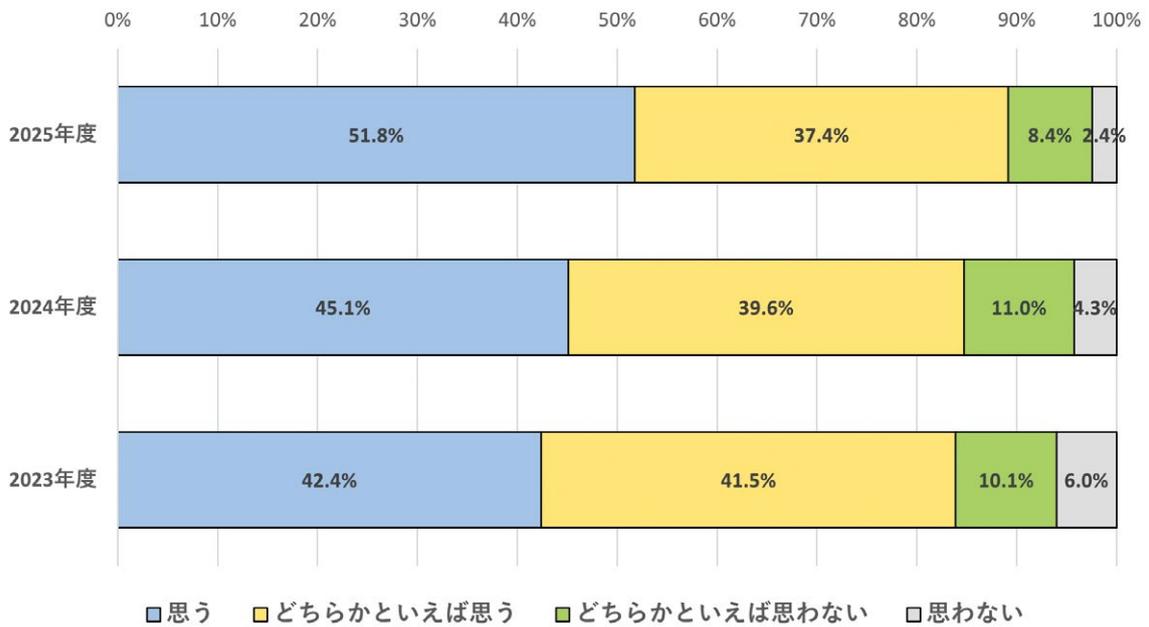
問 28

同じ会社に長く勤めたいと思いますか？(1つ選択)

(n=369)



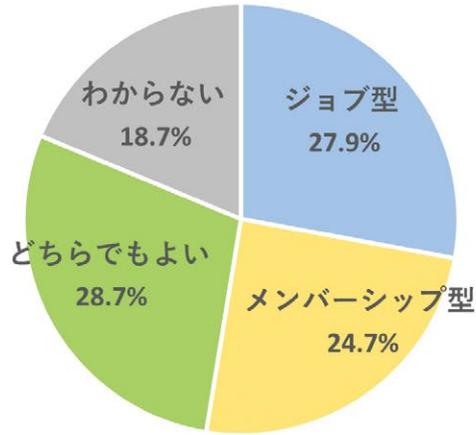
経年比較 (2023~2025年度)



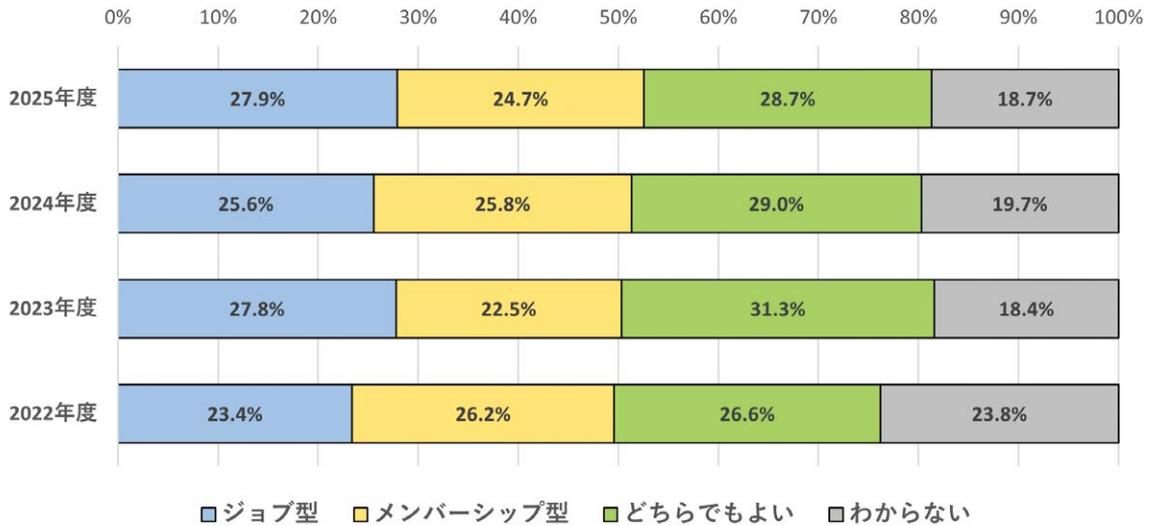
問 29

ジョブ型雇用制度とメンバーシップ型雇用制度では
どちらを望みますか？(1つ選択)

(n=369)



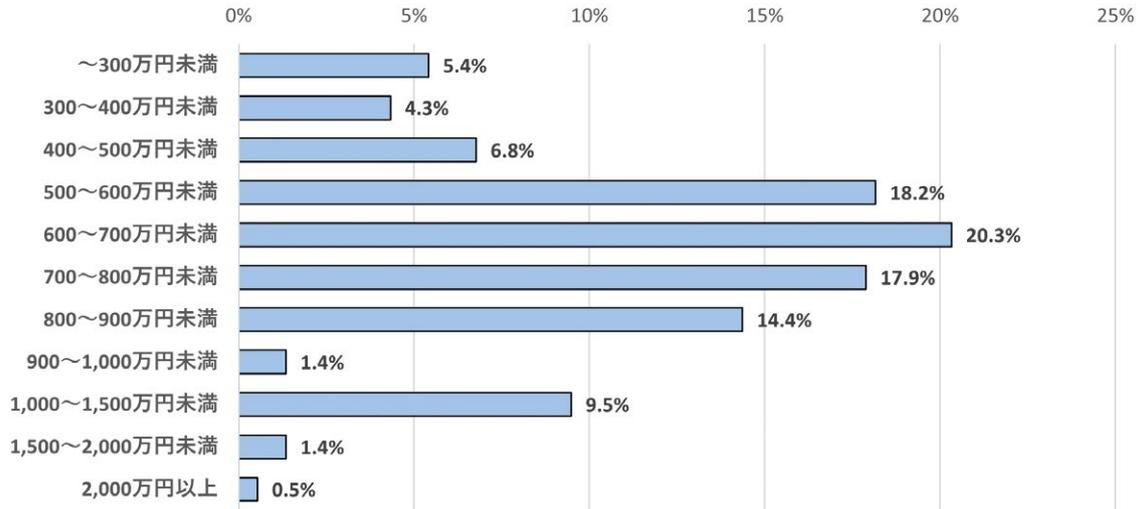
経年比較 (2022~2025年度)



問 30

35歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？
(自由記述)

(n=369)



加重平均値

7,161,247円 / 対昨年度比: -408,913円

経年比較 (2015～2025年度)



2025年度(第36回)新入社員の
会社生活調査

2025年7月

学校法人産業能率大学

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

TEL: 03-5758-5117

(総合研究所 マーケティングセンター)